

2011 年度  
調査報告書

# 子どもの運動・スポーツ指導者の 意識等に関する調査



〔共同研究者〕

山梨大学 教授 中村 和彦

## 目 次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| I. 要約                       | 1  |
| II. 調査の概要                   | 3  |
| III. 調査結果                   | 6  |
| (1) 調査対象の属性                 | 6  |
| 1-1 対象者の基本属性                |    |
| 1-2 対象者の取得資格状況              |    |
| (2) 運動・スポーツ指導状況             | 9  |
| 2-1 指導経験年数                  |    |
| 2-2 運動・スポーツ指導種目             |    |
| 2-3 運動・スポーツ指導状況             |    |
| 2-4 種目別にみる運動・スポーツ指導状況       |    |
| (3) 運動・スポーツ指導に関する意識         | 18 |
| 3-1 運動・スポーツを指導する際に参考にしているもの |    |
| 3-2 子どもの運動・スポーツ指導への期待       |    |
| 3-3 子どもの運動能力向上・運動指導に関する考え   |    |
| 3-4 取得資格別にみる運動・スポーツ指導に関する意識 |    |
| (4) 外部指導者制度                 | 34 |
| 4-1 外部指導者制度の認知度             |    |
| 4-2 外部指導者の経験の有無             |    |
| 4-3 外部指導者として指導している種目と指導内容   |    |
| (5) 指導者自身の運動・スポーツ活動歴        | 40 |
| 5-1 幼少年期における運動・スポーツ組織への加入歴  |    |
| 5-2 幼少年期における運動・スポーツ実施状況     |    |
| 5-3 種目別にみる運動・スポーツ実施状況       |    |
| IV. 提言                      | 44 |
| V. 添付資料                     | 47 |
| 調査票・単純集計表                   |    |
| VI. 参考文献                    | 53 |

## I. 要約

本調査では、日本体育協会が毎年開催しているスポーツ少年団指導者全国研究大会および全国各地で開催されるスポーツ少年団認定育成員研修会に参加する指導者を対象とし、平成23年6月～平成23年11月の間に直接配布直接回収による質問紙調査を行った。有効回答数は698であった。主な調査結果は以下の通りである。

- 1) 運動・スポーツ指導種目をみると、「サッカー」が15.8%と最も多く、次いで「軟式野球」が15.1%、「バレーボール」13.8%、「剣道」10.9%、「複合種目」9.3%、「空手道」9.0%、「バスケットボール」7.6%、「ソフトボール」5.6%、「柔道」4.7%、「陸上競技」4.3%と続く。
- 2) 指導している子どもの年代は、「小学生」が71.1%と7割以上を占めており、次いで「中学生」が15.0%、「未就学児」7.7%、「高校生」6.2%であった。指導頻度は「週2回」が36.0%と最も多く、次いで「週1回」が24.1%、「週3回」21.6%と続く。また、1回あたりの指導時間は「60分以上120分未満」が54.3%と最も多く、次いで「120分以上180分未満」が28.7%、「60分未満」8.2%と続く。
- 3) 子どもに運動・スポーツを指導する際に指導者が参考しているものをたずねたところ、「自分のスポーツ経験」が73.1%と最も多く、7割以上の指導者が自らの運動・スポーツ活動の経験をもとに指導していることが明らかとなった。次いで「取得後に開催される資格に関する研修会等」が53.7%、「専門書や指導参考書等」が52.6%、「機関誌(スポーツジャスト)や資格取得時の講習のテキスト」が52.0%であった。
- 4) 子どもの運動能力を高めるにはどうしたら良いと思うかたずねたところ、「いろいろな運動遊びを経験する」95.7%、「特定のスポーツ活動を経験する」1.6%という回答が得られ、ほとんどの指導者が子どもの運動能力を高めるためにはいろいろな運動遊びを経験することの重要性を認識していた。

また、子どもがスポーツ種目をひとつに絞って専門的に行うのに適していると思う時期をたずねたところ、「中学生」が42.0%と最も多く、次いで「高校生」が19.5%、「小学校高学年」18.9%、「小学校中学年」8.6%と続いた。

練習試合を含めた子どもの試合参加についての考えをたずねたところ、「できる限り多くの子どもに機会を与える」93.7%、「上手な子どもに優先的に機会を与える」2.7%という回答が得られた。

- 5) 外部指導者について「知っている」と回答した者は79.5%と最も多く、「聞いたことがある」と回答した13.3%とあわせると、9割以上が「外部指導者」という言葉を耳にしているようである。また、外部指導者について「知っている」もしくは「聞いたことがある」と回答した者の中で、外部指導者の「経験がある」と回答した者は31.1%、「経験がない」と回答した者は64.4%であり、6割以上の指導者が外部指導者としての指導経験がないことが示された。
- 6) 幼少年期における運動・スポーツ組織への加入歴をたずねたところ、幼少年期において運動・スポーツ組織への加入経験のない者が67.1%と7割近くを占め、加入経験のある者は31.9%と3割程度にとどまっていた。性別による大きな違いはみられなかったが、年代別にみると、運動・スポーツ組織への加入経験は年代による差が大きいことがみてとれた。

## Ⅱ．調査の概要

### 1．はじめに

近年、子どもの体力・運動能力低下の問題が指摘されている。文部科学省「体力・運動能力調査」によると、我が国の子どもたちは、継続的に調査してきた走・跳・投といった基礎的な運動能力や筋力が、1986年前後をピークに著しく低下の傾向にあることが明らかにされている。さらに、柔軟性、敏捷性などの体をコントロールする能力も低下もみられ、依然顕著な向上には至っていないことが報告されている。

また今日の体力・運動能力低下の問題は、積極的に運動・スポーツをする子どもとそうでない子どもという運動実施状況の二極化が顕著に認められるとともに、就学前の幼児における運動能力の低下という低年齢化の傾向を示している。

これまでの学術研究の成果において、子どもの体力・運動能力が低下した直接的な要因は、基本的な動きの未習得と身体活動量の減少であることが明らかにされている。すなわち、子ども達が多様な動きを経験しながら身体活動量を確保していけるような運動・スポーツのあり方、特に発育発達の段階に応じた運動・スポーツ指導を推進していくことが重要であると考えられる。

「スポーツ立国戦略」(2010)では、子どもの体力向上に向けた運動・スポーツ機会の充実のために、指導者の養成や活用が施策として挙げられ、「スポーツ基本法」(2011)においても、スポーツ指導者の資質の向上とその活用のため、系統的な養成システムの開発や支援が基本的施策として定められた。さらに「スポーツ基本法」の理念を具体化するものとして、文部科学省が2012年3月に策定した「スポーツ基本計画」においては、子どもの運動・スポーツの機会の充実を目指し、学校や地域において、全ての子どもが運動・スポーツを楽しむことができる環境の整備を図るとし、幼児期から体を動かす遊びに取り組む習慣を身につけることが挙げられている。子どもの運動・スポーツを指導する際、技術的なことのみを教えたり、勝敗にこだわった指導をしたりすることによって、子どもがスポーツの楽しさを知ることなくやめていく場合もあり、スポーツ嫌いにつながるなどの指摘もある。子どもの発育発達段階に応じた指導を展開することによって、子どもの体力・運動能力を向上させ、成人期以降も継続的に運動を実施することができるような指導者の養成、育成が重要な課題であるといえる。

そこで本調査においては、地域において我が国の子どもの運動・スポーツを積極的に推進している日本スポーツ少年団の指導者を対象として、子どもの運動・スポーツ活動に関する指導者の意識や考え方の実態を把握し、問題点を明らかにすることにより、子どもが生涯を通じて運動・スポーツ活動に親しむことができるような指導のあり方を追究した。

本調査の結果が、今後の日本の子どもの運動・スポーツを推進するための基礎資料となり、子どもの健やかな体の育みに貢献することができれば幸いである。

## 2. 調査の目的

本調査の目的は、子どもの運動・スポーツ活動に関する指導者の意識や考え方の実態を把握し、問題点を明らかにすることにより、指導者に求められ、高められるべきリテラシーについて考察し、子どもが生涯を通じて運動・スポーツ活動に親しむことができるような指導のあり方を追究しようとするものである。

## 3. 調査対象

日本体育協会が毎年開催しているスポーツ少年団指導者全国研究大会および、全国各地で開催されるスポーツ少年団認定育成員研修会に参加する指導者 698 人（男性：588 人、女性：106 人）を対象とした。

## 4. 調査方法

直接配布直接回収による無記名式の質問紙調査  
(調査目的や個人データの未公表などを事前に紙面上で説明し、同意を得た上で実施)

## 5. 調査項目

### (1) 対象者の基本属性

性別、年齢、指導経験年数、取得資格状況、幼少年期における運動・スポーツ実施状況

### (2) 運動・スポーツ指導状況

指導している運動・スポーツ種目、子どもの学年、指導頻度、指導時間

### (3) 運動・スポーツ指導に関する意識

運動・スポーツを指導する際に参考にしているもの、運動・スポーツ指導への期待、子どもの運動能力向上・運動指導に関する考え

### (4) 外部指導者の実態

外部指導者制度の認知度、外部指導者の経験の有無、指導内容（指導している種目、子どもの学年、活動場所、指導頻度）

## 6. 調査期間

平成 23 年 6 月～平成 23 年 11 月

## 7. 調査協力

公益財団法人日本体育協会

日本スポーツ少年団

## 8. 実施体制

共同研究者：中村 和彦（山梨大学教育人間科学部 教授）

協力：篠原 俊明（山梨大学大学院教育学研究科）

長野 康平（山梨大学大学院教育学研究科）

丹羽 昭由（山梨大学大学院教育学研究科）

### Ⅲ. 調査結果

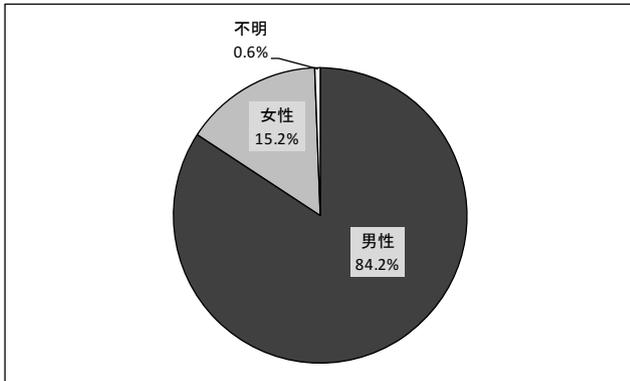
#### (1) 調査対象の属性

##### 1-1 対象者の基本属性

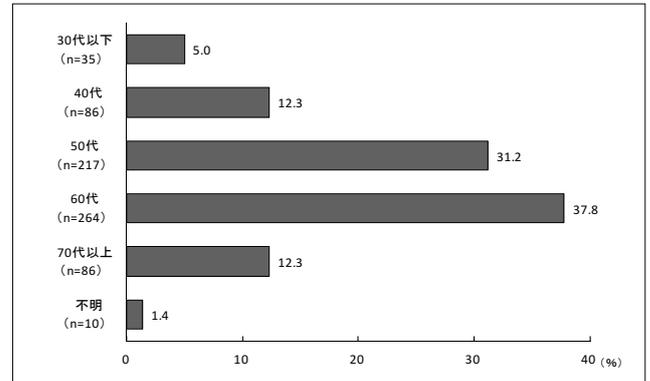
アンケートの回答が得られた指導者（698人）についての属性を以下に示した。

対象者の性別は、「男性」が588人（84.2%）、「女性」が106人（15.2%）と男性が8割以上を占めていた（図1-1）。平均年齢は58.3歳であり、年代の内訳は「60代」が264人（37.8%）と最も多く、次いで「50代」が217人（31.2%）、「40代」「70代以上」86人（12.3%）であった（図1-2）。「30代以下」は35人（5.0%）にとどまり、回答者の年齢層は比較的高い。性別にみると、男性の平均年齢が59.0歳であるのに対し、女性は53.9歳であった（図1-3）。

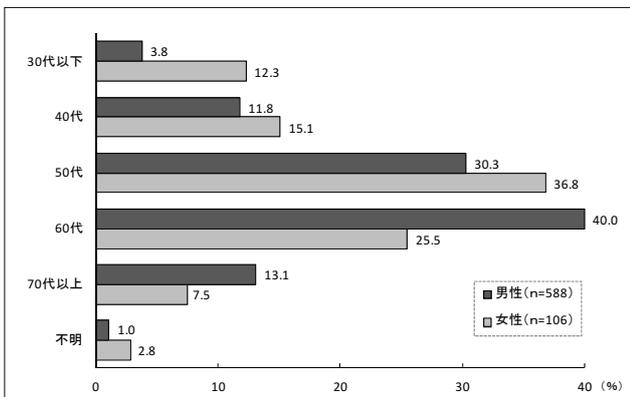
【図1-1】対象者の性別（全体）



【図1-2】対象者の年代（全体）



【図1-3】対象者の年代（性別）



## 1-2 対象者の取得資格状況

対象者の取得資格状況を表 1-1 に示した。「スポーツ少年団認定育成員」が 77.2%と最も多く、およそ 8 割を占める。次いで「ジュニアスポーツ指導員」が 40.7%、「スポーツ少年団認定員」35.7%、「少年スポーツ指導者」26.8%、「体力テスト判定員」26.5%、「競技別指導者」26.2%の順で続く。日本体育協会が主催するスポーツ少年団指導者全国研究大会および、全国各地で開催されたスポーツ少年団認定育成員研修会に参加した指導者を対象としたため、日本体育協会が認定する資格が上位を占めた。

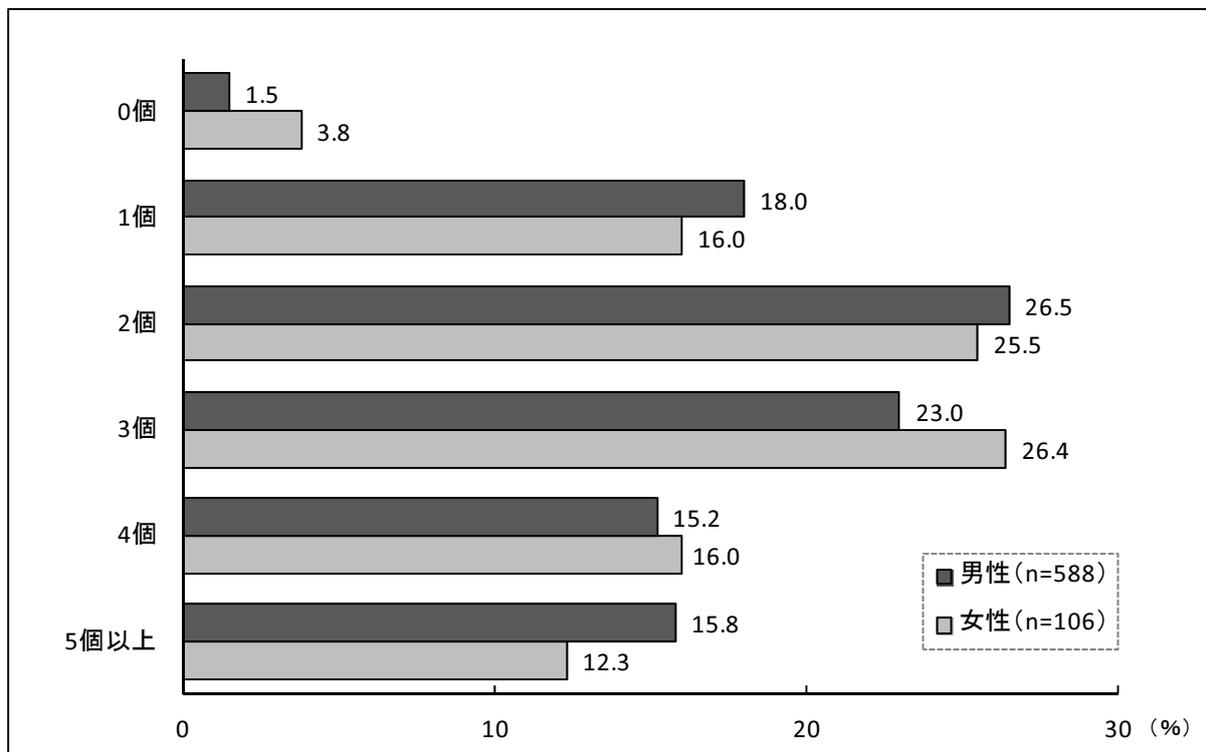
平均取得資格数は 2.9 個であり、1 人あたり約 3 個の資格を取得していた。性別にみると、男性の平均は 2.9 個であるのに対し、女性の平均は 2.7 個であった（図 1-4）。

また、取得資格数を年代別にみると、30 代以下では「0 個」が 11.4%、「1 個」が 42.9%であり、資格を持たない、あるいは 1 つのみという者は 54.3%と半数を占める。一方、70 代以上では「3 個」が 16.3%、「4 個」が 22.1%、「5 個以上」が 24.4%であり、年代が高くなるにつれて取得資格数が増加する傾向にあった（図 1-5）。

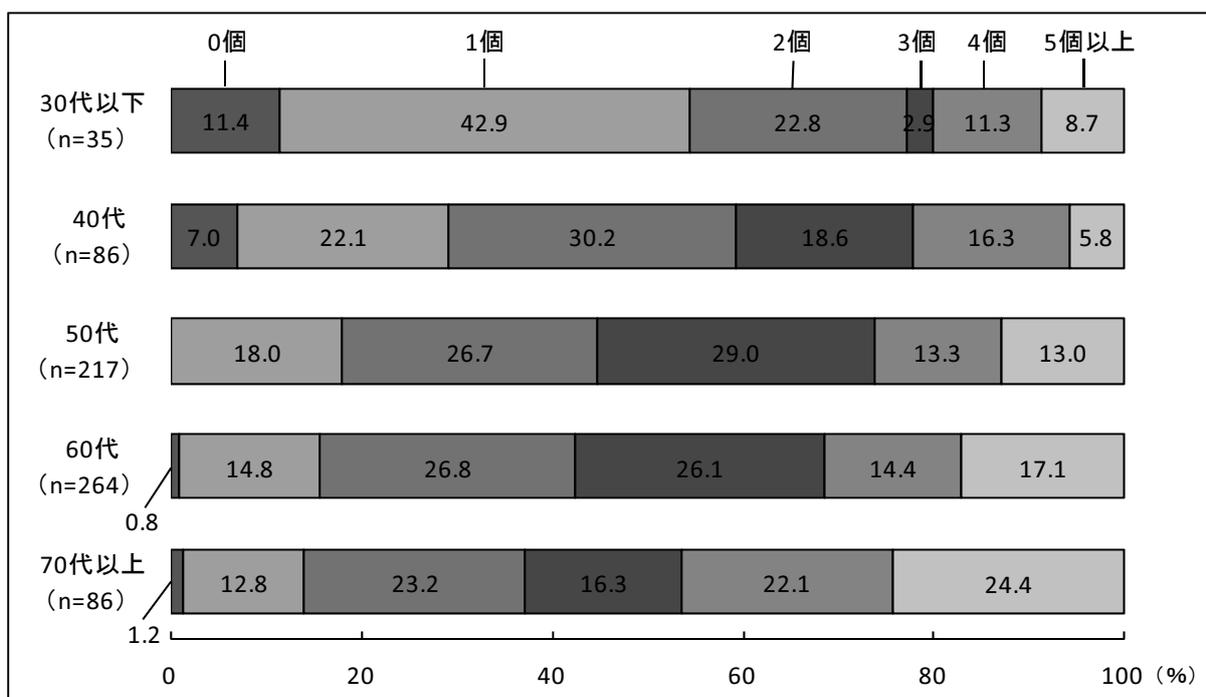
【表 1-1】対象者の取得資格状況（全体・性別）

| 全体 (n=698) |                  |      | 男性 (n=588) |                  |      | 女性 (n=106) |                  |      |
|------------|------------------|------|------------|------------------|------|------------|------------------|------|
| 順位         | 取得資格             | %    | 順位         | 取得資格             | %    | 順位         | 取得資格             | %    |
| 1          | スポーツ少年団認定育成員     | 77.2 | 1          | スポーツ少年団認定育成員     | 80.1 | 1          | スポーツ少年団認定育成員     | 61.3 |
| 2          | ジュニアスポーツ指導員      | 40.7 | 2          | ジュニアスポーツ指導員      | 41.0 | 2          | スポーツ少年団認定員       | 44.3 |
| 3          | スポーツ少年団認定員       | 35.7 | 3          | スポーツ少年団認定員       | 33.8 | 3          | ジュニアスポーツ指導員      | 37.7 |
| 4          | 少年スポーツ指導者        | 26.8 | 4          | 少年スポーツ指導者        | 27.9 | 4          | 競技別指導者           | 29.2 |
| 5          | 体力テスト判定員         | 26.5 | 5          | 競技別指導者           | 25.9 | 5          | 体力テスト判定員         | 29.2 |
| 6          | 競技別指導者           | 26.2 | 6          | 体力テスト判定員         | 25.7 | 6          | 少年スポーツ指導者        | 20.8 |
| 7          | 教員免許             | 17.6 | 7          | 教員免許             | 17.3 | 7          | 教員免許             | 18.9 |
| 8          | 体力テスト指導員         | 16.6 | 8          | 体力テスト指導員         | 16.8 | 8          | 体力テスト指導員         | 15.1 |
| 9          | クラブマネージャー        | 5.6  | 9          | クラブマネージャー        | 5.8  | 9          | クラブマネージャー        | 4.7  |
| 10         | アシスタントマネージャー     | 3.6  | 10         | スポーツプログラマー       | 3.6  | 10         | レクリエーションインストラクター | 4.7  |
| 11         | スポーツプログラマー       | 3.3  | 11         | アシスタントマネージャー     | 3.6  | 11         | アシスタントマネージャー     | 3.8  |
| 12         | レクリエーションインストラクター | 2.3  | 12         | レクリエーションコーディネーター | 2.0  | 12         | スポーツプログラマー       | 1.9  |
| 13         | レクリエーションコーディネーター | 1.7  | 13         | レクリエーションインストラクター | 1.9  | 13         | 競技公認審判員          | 1.9  |
| 14         | 健康運動指導士          | 0.6  | 14         | 健康運動指導士          | 0.7  |            |                  |      |
|            | 上級スポーツ指導者        | 0.6  |            | 上級スポーツ指導者        | 0.7  |            |                  |      |
| 16         | 日本サッカー協会公認指導者    | 0.4  | 16         | 日本サッカー協会公認指導者    | 0.5  |            |                  |      |
|            | 身体障害者スポーツ指導員     | 0.4  |            |                  |      |            |                  |      |

【図 1-4】対象者の取得資格数（性別）



【図 1-5】対象者の取得資格数（年代別）



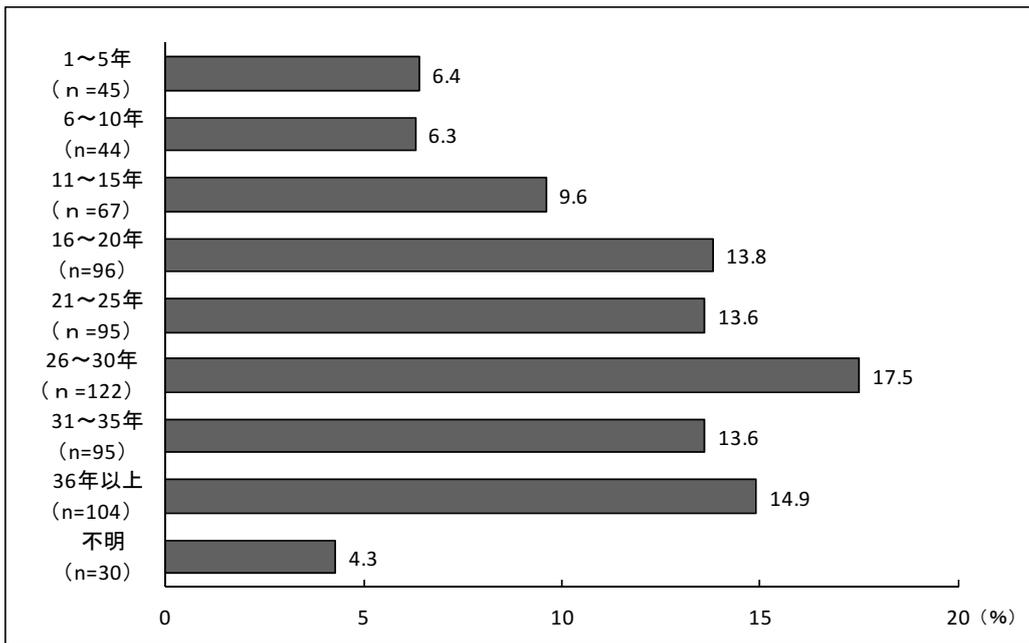
## (2) 運動・スポーツ指導状況

### 2-1 指導経験年数

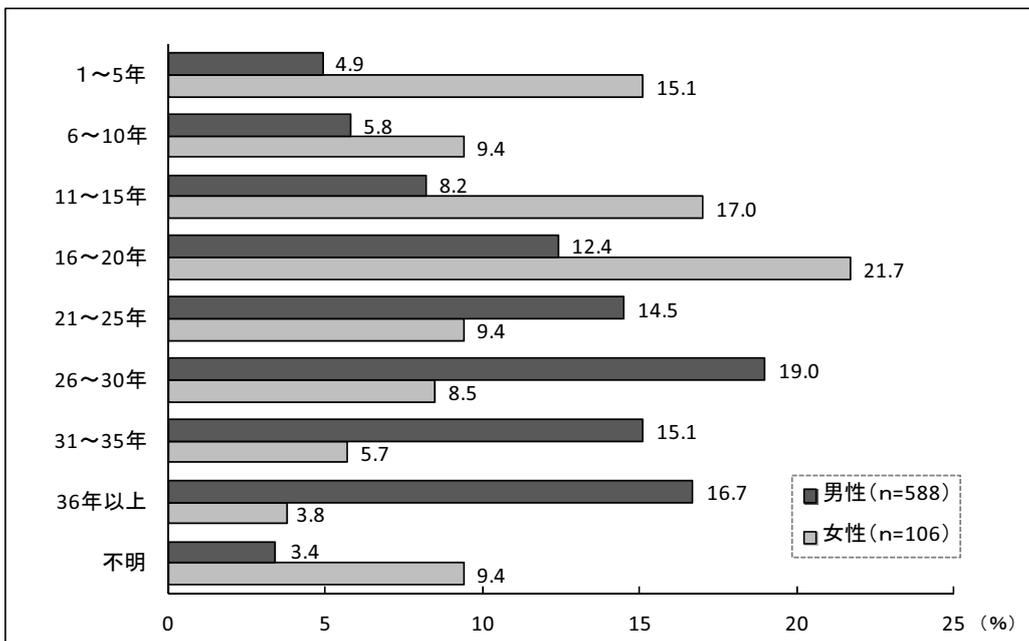
対象者の平均指導年数は 24.6 年であった。その内訳は、「26～30 年」が 17.5%と最も多く、次いで「36 年以上」が 14.9%、「16～20 年」13.8%、「21～25 年」「31～35 年」13.6%であった（図 2-1）。

性別にみると、男性は指導経験年数「21 年以上」が 65.3%を占めているのに対し、女性は指導経験年数「1～20 年」が 63.2%を占めた（図 2-2）。

【図 2-1】 指導経験年数（全体）



【図 2-2】 指導経験年数（性別）



## 2-2 運動・スポーツ指導種目

運動・スポーツ指導種目を表 2-1 に示した。「サッカー」が 15.8%と最も多く、次いで「軟式野球」が 15.1%、「バレーボール」13.8%、「剣道」10.9%、「複合種目」9.3%、「空手道」9.0%、「バスケットボール」7.6%、「ソフトボール」5.6%、「柔道」4.7%、「陸上競技」4.3%と続く。

性別にみると、男性の指導実施率が 10%を超える運動・スポーツ種目は「サッカー」「軟式野球」「バレーボール」「剣道」である。一方、女性の指導実施率が 10%を超える運動・スポーツ種目は「バレーボール」「複合種目」「水泳」であり、男女共通して指導実施率が 10%を超える運動・スポーツ種目は、「バレーボール」のみという結果であった。

年代別にみると、「サッカー」「軟式野球」「バレーボール」「剣道」「複合種目」「空手道」「バスケットボール」「ソフトボール」「陸上競技」「水泳」がいずれの年代でも指導されている（表 2-2）。年代別の特徴を探ると、30 代以下で最も指導されている種目が「複合種目」であることが 1 つの特徴である。

【表 2-1】運動・スポーツ指導種目（全体・性別）

| 全体 (n=622) |            |      | 男性 (n=528) |            |       | 女性 (n=94) |            |      |
|------------|------------|------|------------|------------|-------|-----------|------------|------|
| 順位         | 指導種目       | %    | 順位         | 指導種目       | %     | 順位        | 指導種目       | %    |
| 1          | サッカー       | 15.8 | 1          | サッカー       | 18.2  | 1         | バレーボール     | 23.4 |
| 2          | 軟式野球       | 15.1 | 2          | 軟式野球       | 17.4  | 2         | 複合種目       | 12.8 |
| 3          | バレーボール     | 13.8 | 3          | バレーボール     | 12.1  | 3         | 水泳         | 10.6 |
| 4          | 剣道         | 10.9 | 4          | 剣道         | 11.4  | 4         | バスケットボール   | 8.5  |
| 5          | 複合種目       | 9.3  | 5          | 空手道        | 9.5   | 5         | 剣道         | 7.4  |
| 6          | 空手道        | 9.0  | 6          | 複合種目       | 8.7   | 6         | 空手道        | 6.4  |
| 7          | バスケットボール   | 7.6  | 7          | バスケットボール   | 7.4   | 8         | 硬式テニス      | 6.4  |
| 8          | ソフトボール     | 5.6  | 8          | ソフトボール     | 6.6   |           | 卓球         | 4.3  |
| 9          | 柔道         | 4.7  | 9          | 柔道         | 5.3   |           | スキー        | 4.3  |
| 10         | 陸上競技       | 4.3  | 10         | 陸上競技       | 4.5   |           | 体操         | 4.3  |
| 11         | スキー        | 4.0  | 11         | スキー        | 4.0   | 13        | バドミントン     | 4.3  |
| 12         | 水泳         | 3.5  | 12         | 少林寺拳法      | 2.7   |           | なぎなた       | 4.3  |
| 13         | 卓球         | 2.9  | 14         | 卓球         | 2.7   | ソフトテニス    | 3.2        |      |
| 14         | 少林寺拳法      | 2.4  |            | 14         | 水泳    | 2.3       | 陸上競技       | 3.2  |
|            | バドミントン     | 2.4  | 15         | バドミントン     | 2.1   | 15        | 軟式野球       | 2.1  |
| 16         | ソフトテニス     | 1.9  | 16         | ソフトテニス     | 1.7   |           | サッカー       | 2.1  |
| 17         | 硬式テニス      | 1.8  | 17         | 硬式テニス      | 0.9   | 17        | 柔道         | 1.1  |
| 18         | 体操         | 1.1  | 18         | ラグビー       | 0.8   |           | 少林寺拳法      | 1.1  |
| 19         | 運動遊び(体づくり) | 0.6  | 19         | 体操         | 0.6   |           | 運動遊び(体づくり) | 1.1  |
|            | ラグビー       | 0.6  |            | 運動遊び(体づくり) | 0.6   |           | ジュニアリーダー会  | 1.1  |
|            | なぎなた       | 0.6  |            | ジュニアリーダー会  | 0.4   |           | 新体操        | 1.1  |
| 22         | ジュニアリーダー会  | 0.5  | 21         | 相撲         | 0.4   |           | アイスホッケー    | 1.1  |
| 23         | 相撲         | 0.3  |            | スポーツチャンバラ  | 0.4   |           | ゲートボール     | 1.1  |
|            | アイスホッケー    | 0.3  |            | ドッジボール     | 0.4   |           | フェンシング     | 1.1  |
|            | スポーツチャンバラ  | 0.3  |            | レスリング      | 0.4   |           | ハンドボール     | 1.1  |
|            | ドッジボール     | 0.3  |            | 合気道        | 0.4   |           | 弓道         | 1.1  |
|            | レスリング      | 0.3  |            | アウトドアスポーツ  | 0.2   |           | リズムトレーニング  | 1.1  |
|            | 合気道        | 0.3  |            | 飛び込み       | 0.2   |           | エアロビクス     | 1.1  |
|            | ハンドボール     | 0.3  | 一輪車        | 0.2        | チアダンス |           | 1.1        |      |
| 30         | アウトドアスポーツ  | 0.2  | 27         | アジャタ(玉入れ)  | 0.2   |           |            |      |
|            | 飛び込み       | 0.2  |            | 乗馬         | 0.2   |           |            |      |
|            | 新体操        | 0.2  |            | アイススケート    | 0.2   |           |            |      |
|            | 一輪車        | 0.2  |            | アイスホッケー    | 0.2   |           |            |      |
|            | アジャタ(玉入れ)  | 0.2  |            | 総合型スポーツクラブ | 0.2   |           |            |      |
|            | 乗馬         | 0.2  |            | 馬術         | 0.2   |           |            |      |
|            | アイススケート    | 0.2  |            | 硬式野球       | 0.2   |           |            |      |
|            | 総合型スポーツクラブ | 0.2  |            | 居合道        | 0.2   |           |            |      |
|            | 馬術         | 0.2  |            | マラソン       | 0.2   |           |            |      |
|            | ゲートボール     | 0.2  |            | カーリング      | 0.2   |           |            |      |
|            | 硬式野球       | 0.2  |            | ハンドボール     | 0.2   |           |            |      |
|            | フェンシング     | 0.2  |            |            |       |           |            |      |
|            | 居合道        | 0.2  |            |            |       |           |            |      |
|            | マラソン       | 0.2  |            |            |       |           |            |      |
|            | カーリング      | 0.2  |            |            |       |           |            |      |
|            | 弓道         | 0.2  |            |            |       |           |            |      |
|            | リズムトレーニング  | 0.2  |            |            |       |           |            |      |
| エアロビクス     | 0.2        |      |            |            |       |           |            |      |
| チアダンス      | 0.2        |      |            |            |       |           |            |      |

【表 2-2】 運動・スポーツ指導種目（年代別）

| 30代以下 (n=27) |          |        | 40代 (n=82) |          |      | 50代 (n=199) |          |      |
|--------------|----------|--------|------------|----------|------|-------------|----------|------|
| 順位           | 指導種目     | %      | 順位         | 指導種目     | %    | 順位          | 指導種目     | %    |
| 1            | 複合種目     | 22.2   | 1          | バレーボール   | 17.1 | 1           | サッカー     | 20.1 |
| 2            | 剣道       | 14.8   | 2          | 剣道       | 15.9 | 2           | 軟式野球     | 15.1 |
| 3            | サッカー     | 11.1   | 3          | 軟式野球     | 12.2 | 3           | バレーボール   | 13.6 |
| 4            | 空手道      | 11.1   |            | サッカー     | 12.2 | 4           | バスケットボール | 12.1 |
| 5            | 軟式野球     | 7.4    | 5          | 空手道      | 11.0 | 5           | 剣道       | 10.6 |
|              | バレーボール   | 7.4    | 6          | 複合種目     | 9.8  | 6           | 複合種目     | 9.0  |
|              | バスケットボール | 7.4    | 7          | バスケットボール | 6.1  | 7           | 柔道       | 6.0  |
|              | ソフトテニス   | 7.4    | 8          | ソフトボール   | 4.9  | 8           | ソフトボール   | 5.5  |
|              | 陸上競技     | 7.4    |            | 陸上競技     | 4.9  | 9           | スキー      | 5.0  |
|              | スキー      | 7.4    | 10         | 卓球       | 3.7  | 10          | バドミントン   | 3.5  |
| 11           | ソフトボール   | 3.7    |            | 硬式テニス    | 3.7  | 11          | 空手道      | 3.0  |
|              | 水泳       | 3.7    | 運動遊び（体づくり） | 3.7      | 12   | 少林寺拳法       | 2.5      |      |
|              | 硬式テニス    | 3.7    | 柔道         | 2.4      |      | 卓球          | 2.5      |      |
|              | 新体操      | 3.7    | 少林寺拳法      | 2.4      |      | 陸上競技        | 2.5      |      |
|              |          | ソフトテニス | 2.4        | 水泳       |      | 2.5         |          |      |
|              |          | 13     | 水泳         | 2.4      |      |             |          |      |
|              |          |        | ラグビー       | 2.4      |      |             |          |      |
|              |          |        | 相撲         | 2.4      |      |             |          |      |
|              |          |        | アイスホッケー    | 2.4      |      |             |          |      |
|              |          |        |            |          |      |             |          |      |

| 60代 (n=240) |          |            | 70代以上 (n=68) |          |      |
|-------------|----------|------------|--------------|----------|------|
| 順位          | 指導種目     | %          | 順位           | 指導種目     | %    |
| 1           | 軟式野球     | 15.8       | 1            | 軟式野球     | 19.1 |
| 2           | サッカー     | 14.2       | 2            | サッカー     | 14.7 |
| 3           | バレーボール   | 13.8       |              | バレーボール   | 14.7 |
| 4           | 空手道      | 12.1       | 4            | 空手道      | 13.2 |
| 5           | 剣道       | 9.2        | 5            | 剣道       | 11.8 |
| 6           | 複合種目     | 8.8        | 6            | ソフトボール   | 10.3 |
| 7           | バスケットボール | 5.8        | 7            | 陸上競技     | 7.4  |
| 8           | 柔道       | 5.4        |              | スキー      | 7.4  |
| 9           | ソフトボール   | 5.0        | 9            | 複合種目     | 5.9  |
| 10          | 陸上競技     | 4.6        |              | 水泳       | 5.9  |
| 11          | 水泳       | 4.2        | 11           | 卓球       | 4.4  |
| 12          | 少林寺拳法    | 3.3        | 12           | バスケットボール | 2.9  |
| 13          | 卓球       | 2.9        |              | 柔道       | 2.9  |
|             | スキー      | 2.9        |              | バドミントン   | 2.9  |
| 15          | ソフトテニス   | 2.5        |              | なぎなた     | 2.9  |
|             | バドミントン   | 2.5        | 16           | 体操       | 1.5  |
|             |          | アウトドアスポーツ  |              | 1.5      |      |
|             |          | 運動遊び（体づくり） |              | 1.5      |      |

### 2-3 運動・スポーツ指導状況

運動・スポーツ指導状況を把握するため、指導している子どもの年代、指導頻度（1週間あたりの指導回数）、指導時間（1回あたりの指導時間）をたずねた。

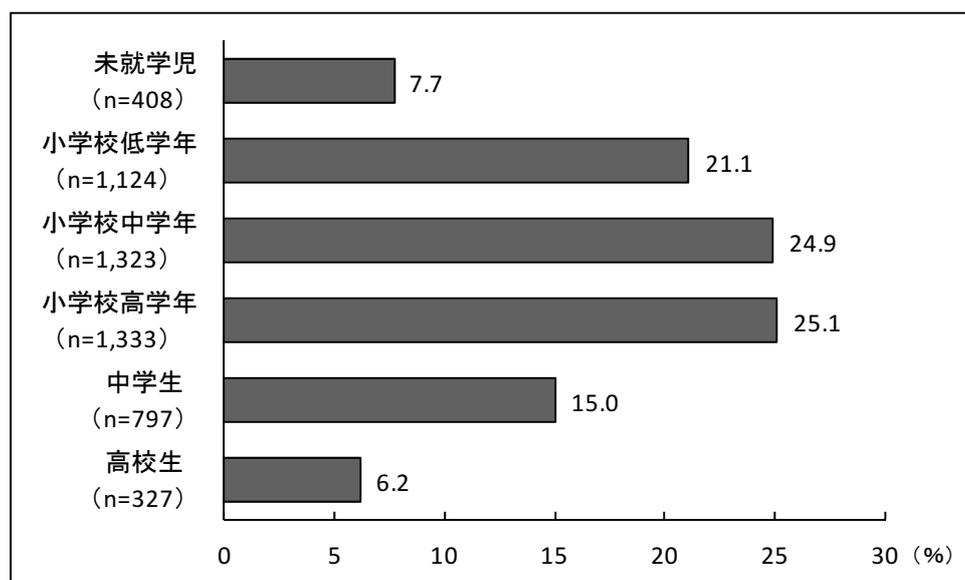
指導している子どもの年代をみると、「小学校高学年」が25.1%と最も多く、次いで「小学校中学年」が24.9%、「小学校低学年」21.1%、「中学生」15.0%、「未就学児」7.7%、「高校生」6.2%と続く（図2-3）。

指導頻度をみると、「週2回」が36.0%と最も多く、次いで「週1回」が24.1%、「週3回」21.6%と続く。平均±標準偏差は2.4±1.3回であり、週1～3回の指導を行っている指導者が8割以上を占める結果となった（図2-4）。また、「週4～7回」と回答した者が15.0%存在していることは気になる点である。

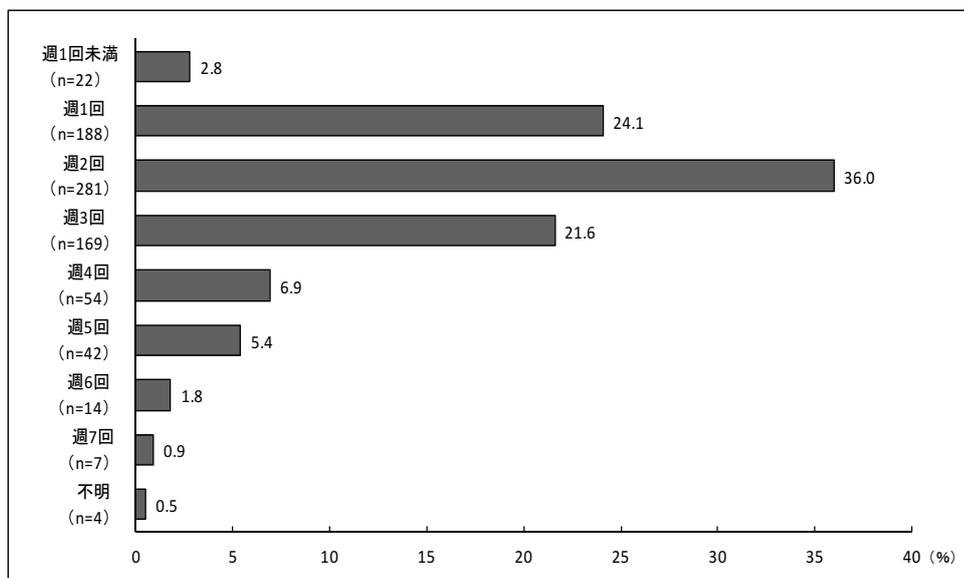
1回あたりの指導時間をみると、「60分以上120分未満」が54.3%と最も多く、次いで「120分以上180分未満」が28.7%、「60分未満」8.2%と続く（図2-5）。平均±標準偏差は137.8±53.0分であり、1回あたり2時間程度の指導を行っていることがわかる。また、「180分以上240分未満」と回答した者が4.9%、「240分以上」と回答した者が2.4%存在していることは気になる点である。

高頻度（週4～7日）・長時間（180分以上）活動している運動・スポーツ指導種目を表2-3に示した。「軟式野球」「バレーボール」が29.0%と最も多く、次いで「柔道」が9.7%、「剣道」「ソフトボール」6.5%と続く。また、その中で指導されている子どもの年代は、「小学生」が69.6%と7割近くを占め、次いで「中学生」が22.7%、「未就学児」5.9%であった（図2-6）。幼少年期における高頻度・長時間の指導は望ましいとは言えず、子どもの発達段階に応じた指導内容が求められる。

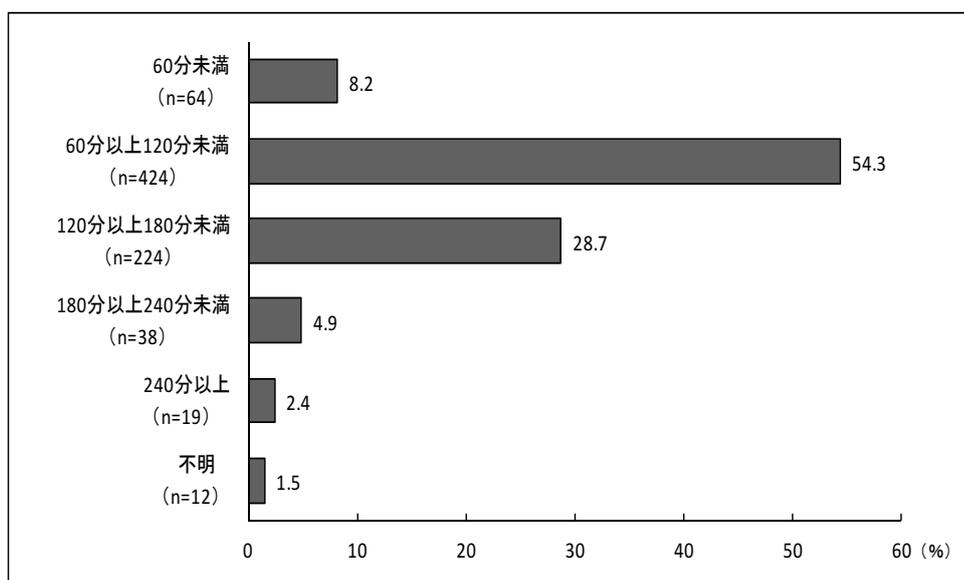
【図2-3】指導している子どもの年代



【図 2-4】指導頻度



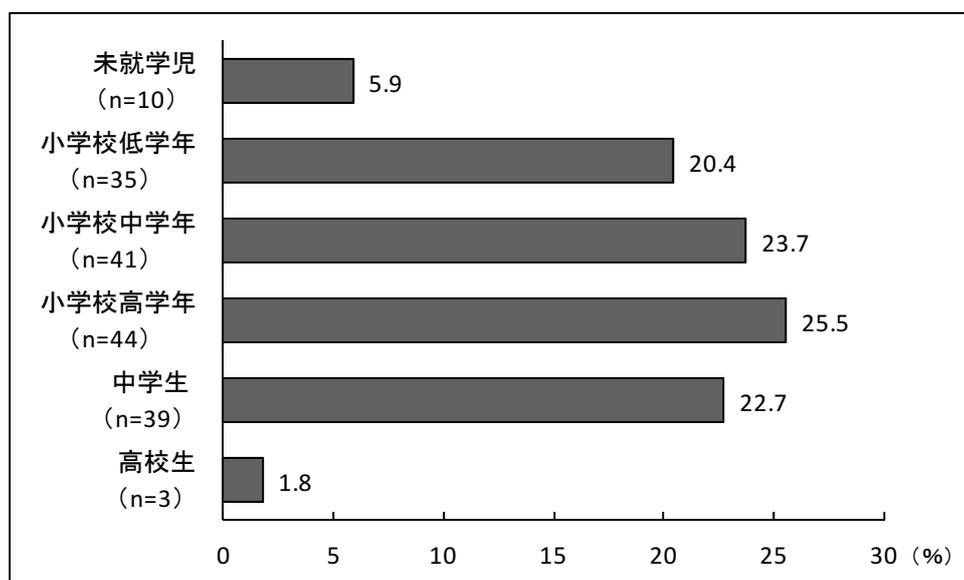
【図 2-5】1回あたりの指導時間



【表 2-3】高頻度・長時間活動している運動・スポーツ指導種目

| 「週4~7回」「180分以上/回」実施種目 (n=31) |        |      |
|------------------------------|--------|------|
| 順位                           | 指導種目   | %    |
| 1                            | 軟式野球   | 29.0 |
|                              | バレーボール | 29.0 |
| 3                            | 柔道     | 9.7  |
| 4                            | 剣道     | 6.5  |
|                              | ソフトボール | 6.5  |
| 6                            | サッカー   | 3.2  |
|                              | 空手道    | 3.2  |
|                              | ソフトテニス | 3.2  |
|                              | 水泳     | 3.2  |
|                              | 硬式テニス  | 3.2  |
|                              | 硬式野球   | 3.2  |

【図 2-6】高頻度・長時間活動している子どもの年代



## 2-4 種目別にみる運動・スポーツ指導状況

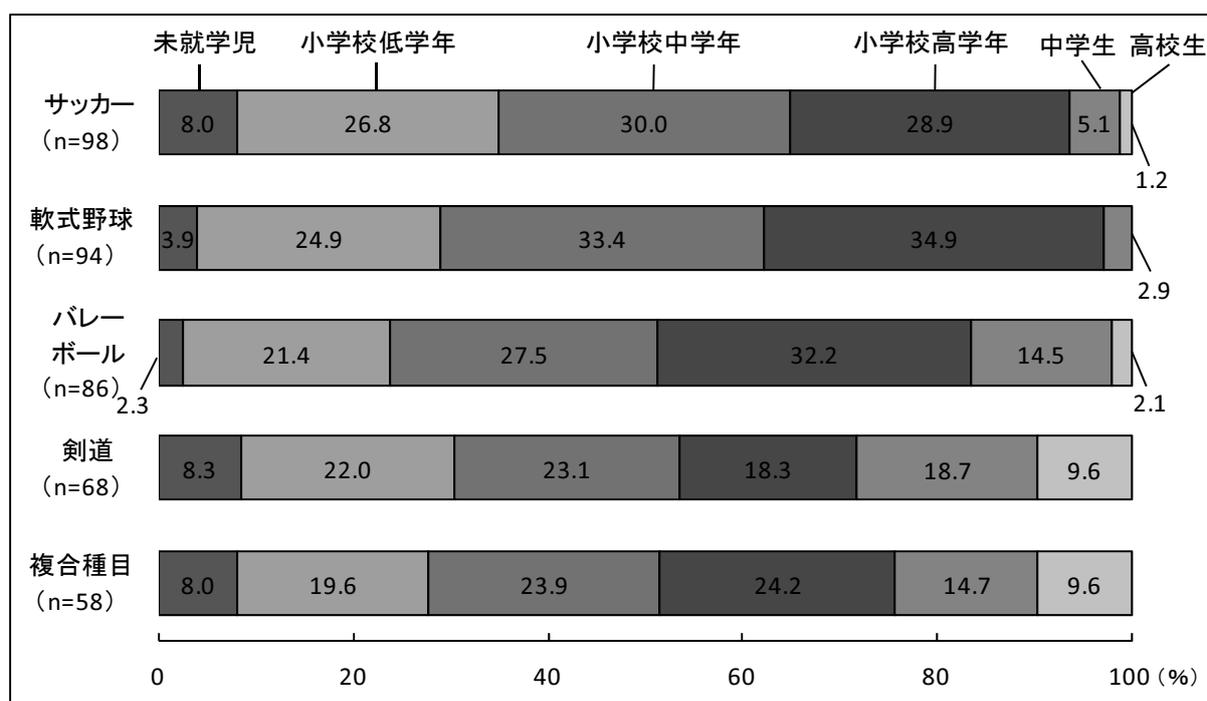
種目別に運動・スポーツ指導状況をとらえるため、運動・スポーツ指導種目で上位に挙げたサッカー、軟式野球、バレーボール、剣道、複合種目の5種目の指導状況について分析を行った。

指導している子どもの年代をみると、いずれの運動・スポーツ種目も「小学生」を指導している割合が高く、「軟式野球」93.2%、「サッカー」85.7%は特に高い割合を示している（図 2-7）。また、すべての運動・スポーツ種目において「未就学児」を指導していると回答した者が存在し、幼児期の早い段階から運動・スポーツ種目を始めていることがうかがえる。

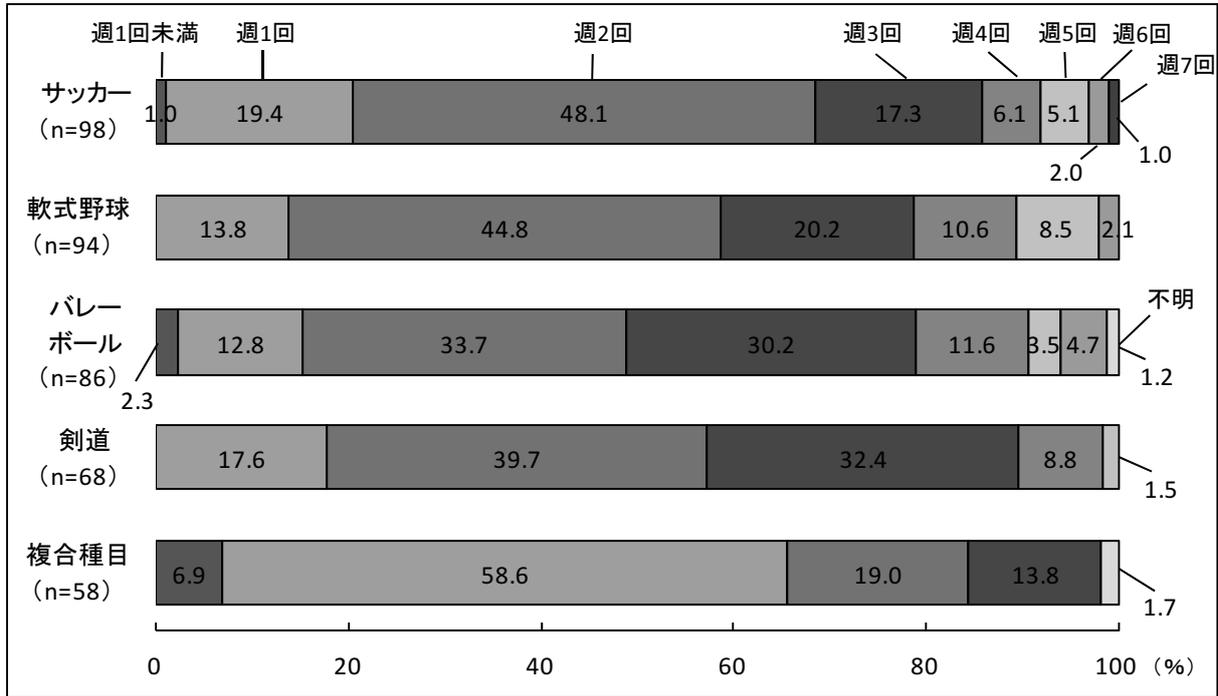
種目別に1週間あたりの平均指導頻度をみると、「サッカー」が2.4回、「軟式野球」2.6回、「バレーボール」2.7回、「剣道」2.4回、「複合種目」1.4回であり、種目によって指導頻度に差があることがみてとれる（図 2-8）。特に、「複合種目」では「週1回」が58.6%と半数以上を占めており、単一のスポーツ種目との指導頻度に違いがみられた。

種目別に1回あたりの平均指導時間をみると、「サッカー」が142.4分、「軟式野球」178.4分、「バレーボール」142.9分、「剣道」103.5分、「複合種目」118.5分であり、種目によって指導時間に差があることがみてとれる（図 2-9）。特に、「軟式野球」は240分以上指導している者が21.3%存在しており、他の4種目に比べて長時間指導していることが示された。

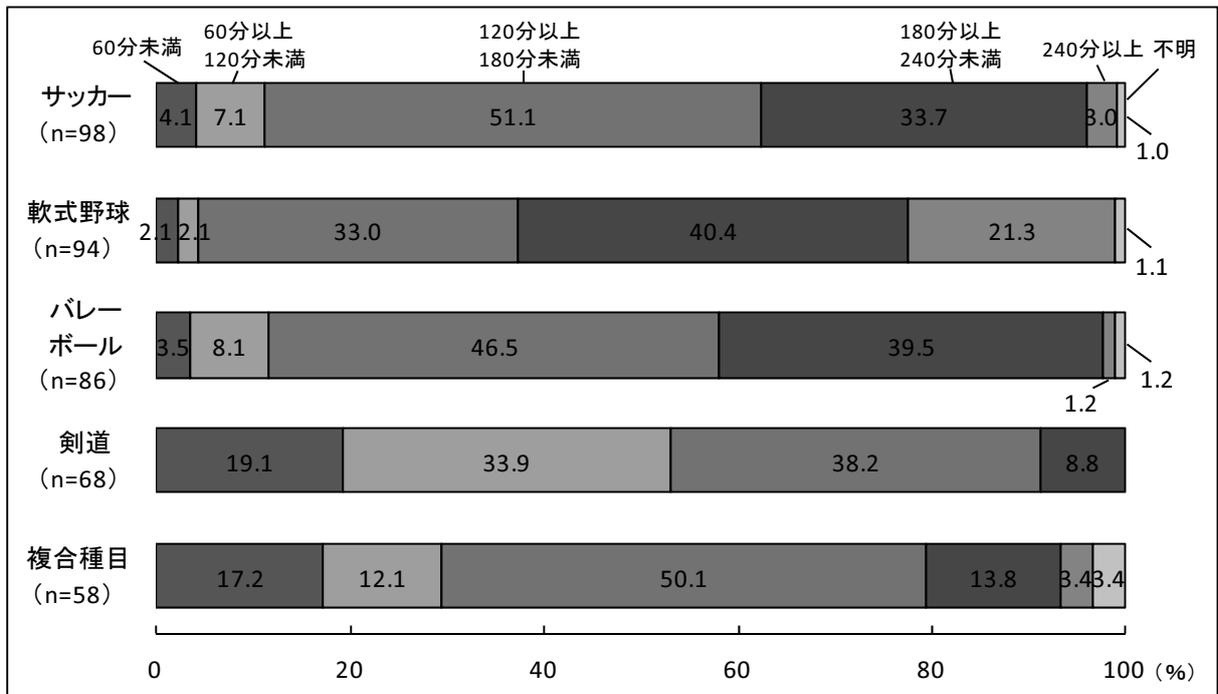
【図 2-7】指導している子どもの年代（種目別）



【図 2-8】種目別にみた指導頻度



【図 2-9】種目別にみた指導時間



### (3) 運動・スポーツ指導に関する意識

#### 3-1 運動・スポーツを指導する際に参考にしているもの

子どもに運動・スポーツを指導する際に指導者が参考にしているものをたずねたところ、「自分のスポーツ経験」が73.1%と最も多く、7割以上の指導者が自らの運動・スポーツ活動の経験をもとに指導していることが明らかとなった。次いで「取得後に開催される資格に関する研修会等」が53.7%、「専門書や指導参考書等」が52.6%、「機関誌（スポーツジャスト）や資格取得時の講習のテキスト」が52.0%と半数以上を占めた（表3-1、図3-1）。

性別にみると、女性が男性よりも参考にしている割合が高かった項目は「他の指導者の実践内容」と「指導者同士の自主的な勉強会等」であり、女性のほうが指導者同士での交流を自らの指導の参考にしていることがみてとれる（表3-1、図3-2）。

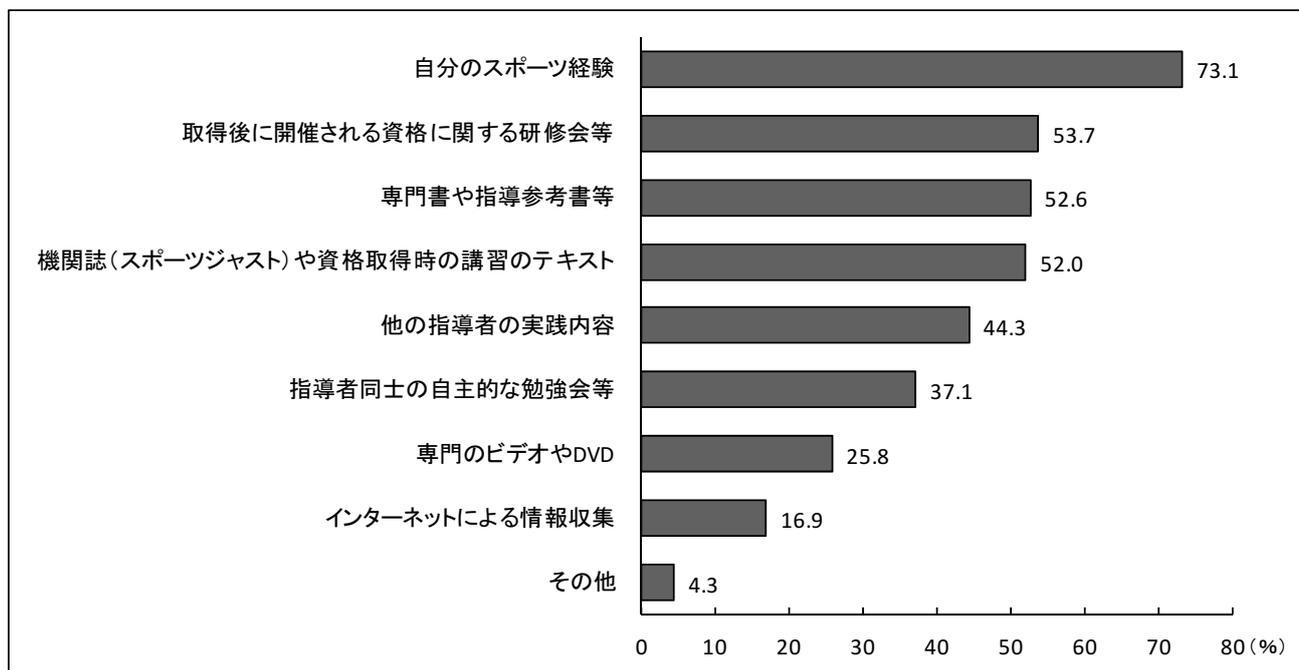
年代別にみると、指導しているものとして上位にあがった4項目のうち、30代以下が参考にしていると回答したものは「取得後に開催される資格に関する研修会等」7.4%のみであった。つまり、これらの項目は年代が高い指導者で割合が高いといえる（図3-3）。30代以下は「他の指導者の実践内容」が44.5%、「インターネットによる情報収集」が22.2%と、他の年代に比べてこの2項目が突出していた。また、「自分のスポーツ経験」という回答はみられず、情報収集の方法が他の年代と違う点が特徴的である。

また、「その他」として、「子どもの実態を見てプログラムを作成」「子どもとの触れ合いから状況を把握」や、「他の分野（スポーツ以外）の指導内容」「心理学の内容」などの回答がみられた（表3-2）。

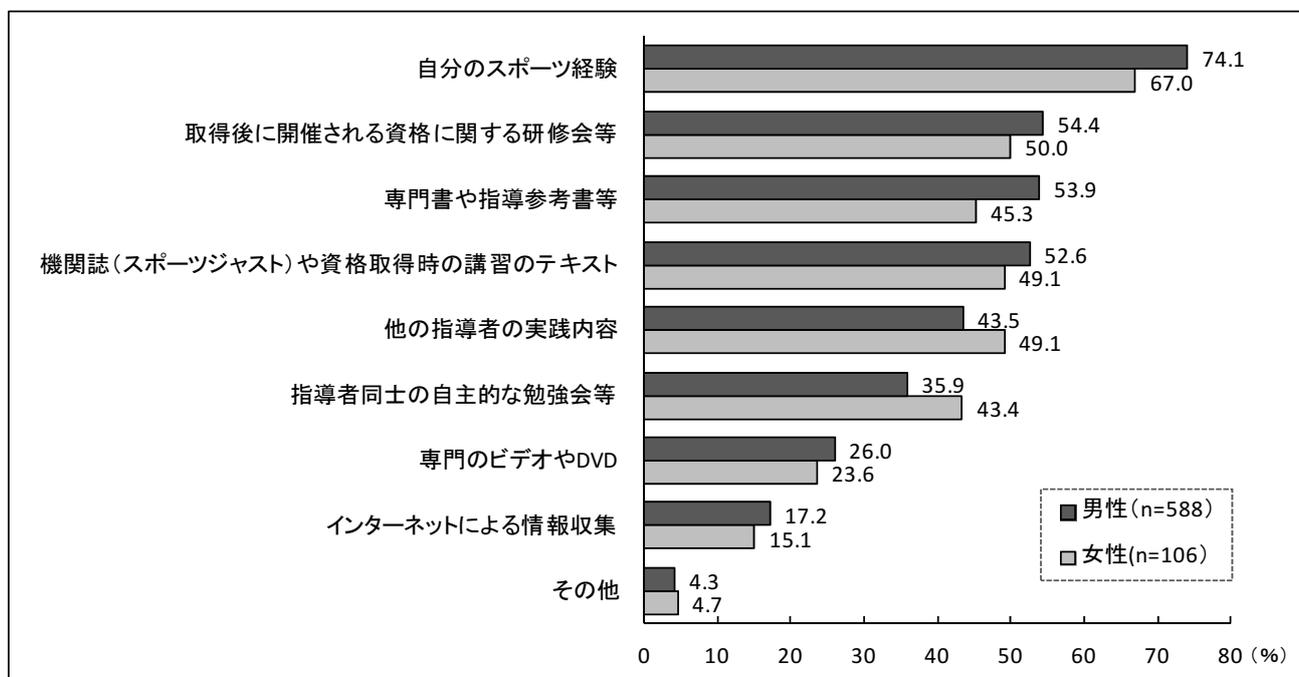
【表3-1】運動・スポーツを指導する際に参考にしているもの（全体・性別）

|    |                             | (%)        |            |            |         |
|----|-----------------------------|------------|------------|------------|---------|
| 順位 |                             | 全体 (n=698) | 男性 (n=588) | 女性 (n=106) | (男性-女性) |
| 1  | 自分のスポーツ経験                   | 73.1       | 74.1       | 67.0       | 7.1     |
| 2  | 取得後に開催される資格に関する研修会等         | 53.7       | 54.4       | 50.0       | 4.4     |
| 3  | 専門書や指導参考書等                  | 52.6       | 53.9       | 45.3       | 8.6     |
| 4  | 機関誌(スポーツジャスト)や資格取得時の講習のテキスト | 52.0       | 52.6       | 49.1       | 3.5     |
| 5  | 他の指導者の実践内容                  | 44.3       | 43.5       | 49.1       | -5.6    |
| 6  | 指導者同士の自主的な勉強会等              | 37.1       | 35.9       | 43.4       | -7.5    |
| 7  | 専門のビデオやDVD                  | 25.8       | 26.0       | 23.6       | 2.4     |
| 8  | インターネットによる情報収集              | 16.9       | 17.2       | 15.1       | 2.1     |
| 9  | その他                         | 4.3        | 4.3        | 4.7        | -0.4    |

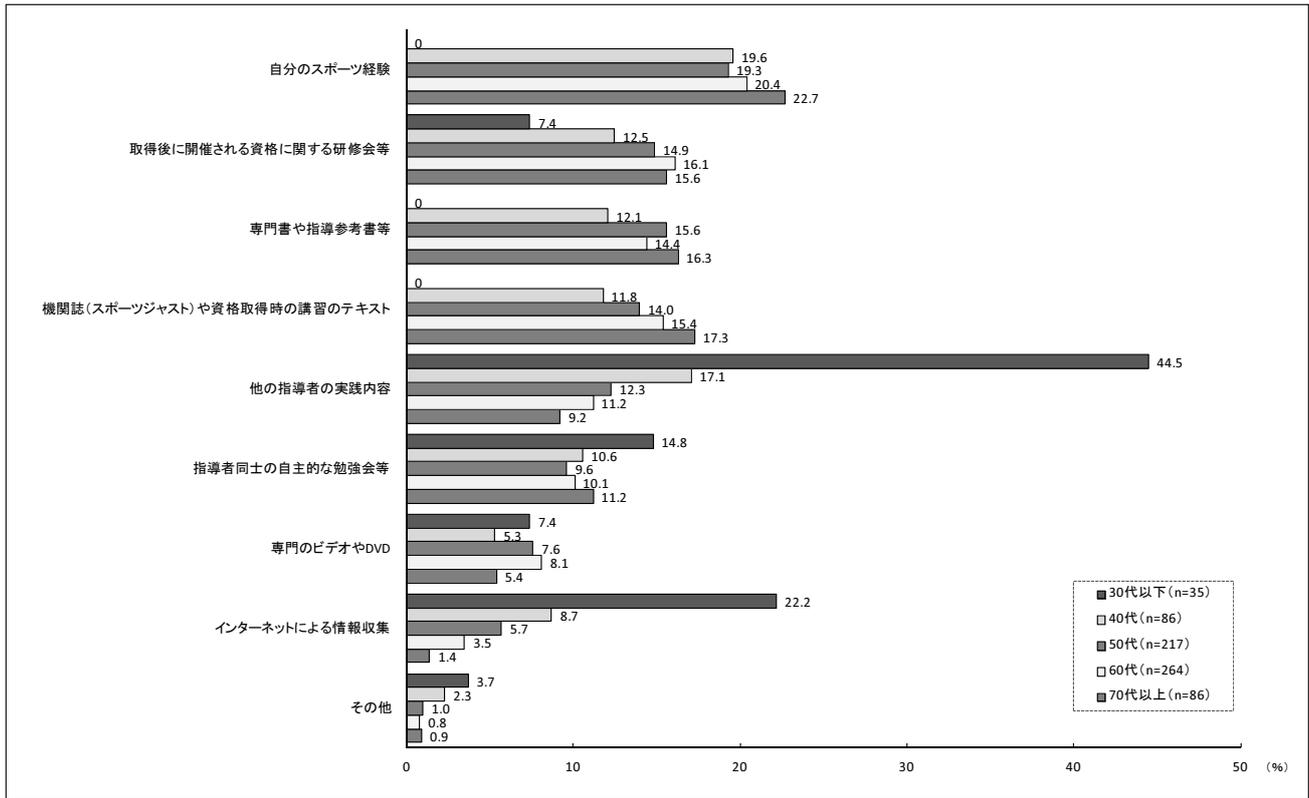
【図 3-1】 運動・スポーツを指導する際に参考にしているもの（全体）



【図 3-2】 運動・スポーツを指導する際に参考にしているもの（性別）



【図 3-3】 運動・スポーツを指導する際に参考にしているもの（年代別）



【表 3-2】 運動・スポーツを指導する際に参考にしているもの（自由回答）

| 年齢  | 性別 | 指導種目                  | 回答                               |
|-----|----|-----------------------|----------------------------------|
| 53歳 | 男性 | サッカー                  | JFA指導書                           |
| 66歳 | 男性 | サッカー                  | いろいろなスポーツの観戦                     |
| 66歳 | 男性 | サッカー                  | いろいろなスポーツの観戦                     |
| 57歳 | 男性 | サッカー 軟式野球 バasketボール   | 県の競技会主催による講習会など                  |
| 78歳 | 女性 | 軟式野球                  | 夫の指導                             |
| 41歳 | 男性 | バレーボール ソフトボール         | 保護者会議などの勉強会                      |
| 54歳 | 男性 | バレーボール ドッジボール         | 子どもの実態を見てプログラムを作っている             |
| 37歳 | 男性 | 剣道                    | 師の教え                             |
| 41歳 | 男性 | 剣道                    | 競技連盟主催の研修会                       |
| 40歳 | 男性 | 複合種目 柔道               | スポーツ種目ごとの研修                      |
| 41歳 | 女性 | 複合種目                  | 認定員養成講習会で講師をする際、受講者からの情報収集       |
| 52歳 | 男性 | 複合種目 バasketボール ソフトボール | TV等                              |
| 48歳 | 男性 | 空手道                   | 少林寺流空手道宗家保蔵代による講習会、総本山における研修     |
| 63歳 | 女性 | 空手道                   | 自分なりに考えて試してみる                    |
| 64歳 | 男性 | 空手道                   | 上級指導者の指導                         |
| 66歳 | 男性 | 空手道                   | スポーツの講習会に参加する指導者の生の声             |
| 69歳 | 男性 | Basketボール             | 志、哲学者関係、理念等の自学書からの考え方等           |
| 59歳 | 男性 | ソフトボール                | 他の分野(スポーツ以外)の指導者の実践内容            |
| 41歳 | 男性 | 陸上競技 バドミントン 卓球        | 小学校の体育部会の研修会                     |
| 51歳 | 女性 | 陸上競技 水泳 バドミントン        | 実際の子どもたちとのふれあいの中で状況を把握           |
| 36歳 | 男性 | スキー                   | 所持資格を活かした指導                      |
| 44歳 | 男性 | 少林寺拳法                 | 学校や他の仕事でヒントになるものならなんでも           |
| 59歳 | 男性 | 少林寺拳法                 | 少林寺拳法の指導者養成コースでの学習               |
| 63歳 | 男性 | バドミントン                | 海外の出版物                           |
| 62歳 | 女性 | 体操                    | メディアの良い点を参考にしている                 |
| 63歳 | 男性 | 硬式野球                  | プロ・大学・高校等の監督・コーチと深く関わり、実践の勉強を受ける |
| 51歳 | 男性 | 不明                    | 試合                               |
| 76歳 | 男性 | 不明                    | 教職課程「心理学」の内容を参考している              |
| 不明  | 男性 | 不明                    | 諸外国のスポーツ指導方法                     |

### 3-2 子どもの運動・スポーツ指導への期待

子どもの運動・スポーツ指導において期待している効果について「とても当てはまる」「少し当てはまる」「どちらでもない」「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」の5件法で回答を求めた。

表3-3は、子どもの運動・スポーツの指導において期待している効果について「とても当てはまる」「少し当てはまる」の回答をあわせた割合を示したものである。

「学校での体育の成績向上に役立つ」を除く全ての項目を8割以上の者が選択しており、指導者は子どもの運動・スポーツ指導においてさまざまな効果を期待していることがうかがえた。

性別にみると、男性が女性よりも期待している割合が高かったのは「競技力が向上する」「学校での体育の成績向上に役立つ」のみであった。また、女性は「コミュニケーション能力を養う」「運動の楽しさを味わうことができる」「運動に進んで取り組む姿勢を養う」において男性よりも5ポイントから6ポイント以上高い割合を示した。

年代別にみると、「30代以下」「40代」といった比較的年代が若い指導者のほうが強く期待している効果も存在した。図3-4から図3-6は、子どもの運動・スポーツを指導において期待している効果について「とても当てはまる」と回答し、より強い期待を抱いている者の割合を示したものである。「精神面が鍛えられる」ことに期待している者は「30代以下」が60.0%、「40代」48.8%、「50代」38.2%、「60代」41.3%、「70代以上」41.8%であった。また「コミュニケーション能力を養う」ことに期待している者は「30代以下」が45.7%、「40代」55.8%、「50代」37.3%、「60代」37.9%、「70代以上」39.5%であった。さらに、「仲間ができる」ことに期待している者は「30代以下」が80.0%、「40代」77.8%、「50代」72.5%、「60代」71.1%、「70代以上」68.5%であった。これら3項目の結果から、「30代以下」「40代」といった比較的年代が若い指導者は子どもの運動・スポーツ指導において体力向上のみならず、「しつけ」や「対人関係」といった多くの期待を寄せていると考えられた。

【表 3-3】子どもの運動・スポーツ指導において期待している効果  
(全体・性別・年代別)

(%)

|                  | 全体 (n=698) | 男性 (n=588) | 女性 (n=106) | (男性-女性) |
|------------------|------------|------------|------------|---------|
| 礼儀が身につく          | 94.2       | 94.0       | 95.3       | -1.3    |
| 精神面が鍛えられる        | 89.6       | 88.8       | 92.4       | -3.6    |
| 競技力が向上する         | 82.9       | 83.1       | 81.1       | 2.0     |
| 学校での体育の成績向上に役立つ  | 65.5       | 65.5       | 65.1       | 0.4     |
| コミュニケーション能力を養う   | 88.9       | 87.7       | 94.3       | -6.6    |
| 運動の楽しさを味わうことができる | 87.2       | 86.4       | 91.5       | -5.1    |
| 運動に進んで取り組む姿勢を養う  | 87.2       | 86.4       | 91.5       | -5.1    |
| 仲間ができる           | 96.3       | 96.0       | 97.2       | -1.2    |
| 基本的な運動能力を身につける   | 91.3       | 90.6       | 93.5       | -2.9    |
| 健康な身体を育む         | 94.4       | 93.8       | 97.2       | -3.4    |

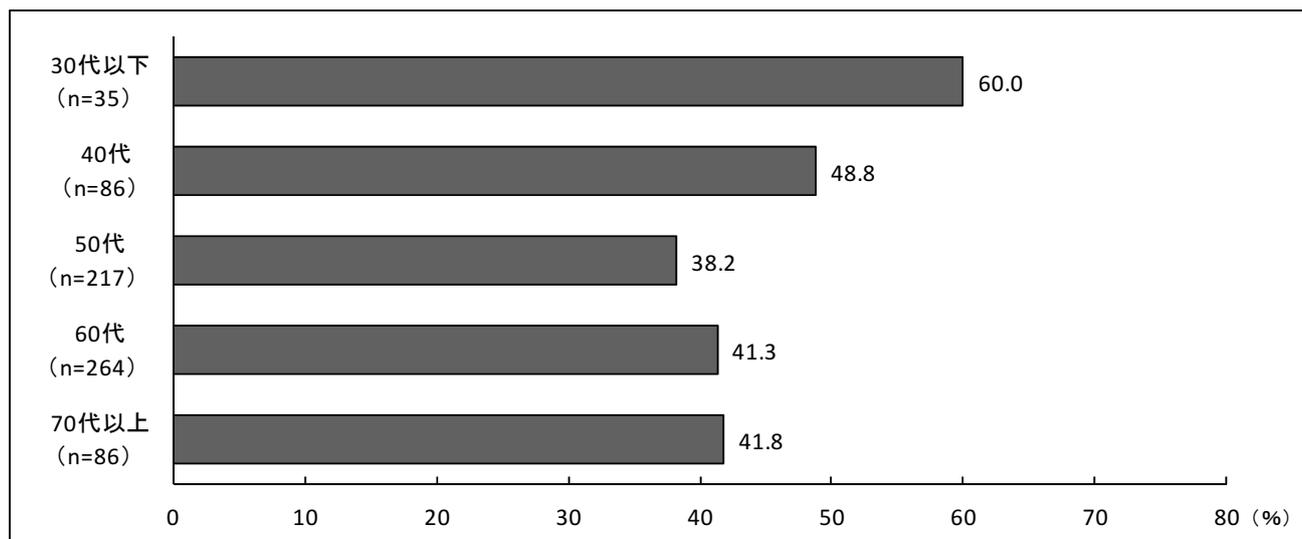
※「とても当てはまる」「少し当てはまる」の回答をあわせた割合

(%)

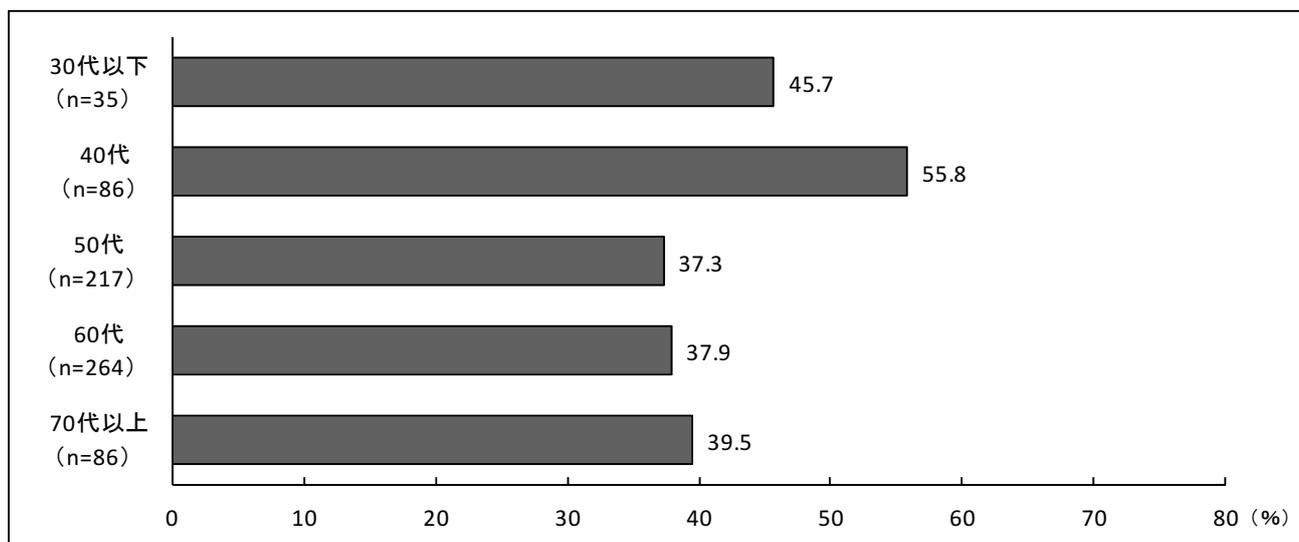
|                  | 30代以下 (n=35) | 40代 (n=86) | 50代 (n=217) | 60代 (n=264) | 70代以上 (n=86) |
|------------------|--------------|------------|-------------|-------------|--------------|
| 礼儀が身につく          | 97.1         | 96.4       | 92.7        | 94.6        | 96.4         |
| 精神面が鍛えられる        | 97.1         | 91.8       | 89.9        | 87.1        | 91.8         |
| 競技力が向上する         | 71.3         | 79.0       | 82.5        | 85.5        | 87.1         |
| 学校での体育の成績向上に役立つ  | 51.4         | 65.0       | 64.6        | 70.4        | 61.6         |
| コミュニケーション能力を養う   | 97.1         | 89.5       | 89.9        | 88.2        | 83.7         |
| 運動の楽しさを味わうことができる | 97.1         | 90.6       | 92.7        | 91.2        | 92.9         |
| 運動に進んで取り組む姿勢を養う  | 85.8         | 87.2       | 87.2        | 88.6        | 87.2         |
| 仲間ができる           | 94.2         | 97.6       | 95.5        | 96.5        | 97.6         |
| 基本的な運動能力を身につける   | 88.5         | 96.5       | 91.7        | 90.9        | 88.3         |
| 健康な身体を育む         | 94.2         | 98.8       | 92.7        | 95.4        | 93.0         |

※「とても当てはまる」「少し当てはまる」の回答をあわせた割合

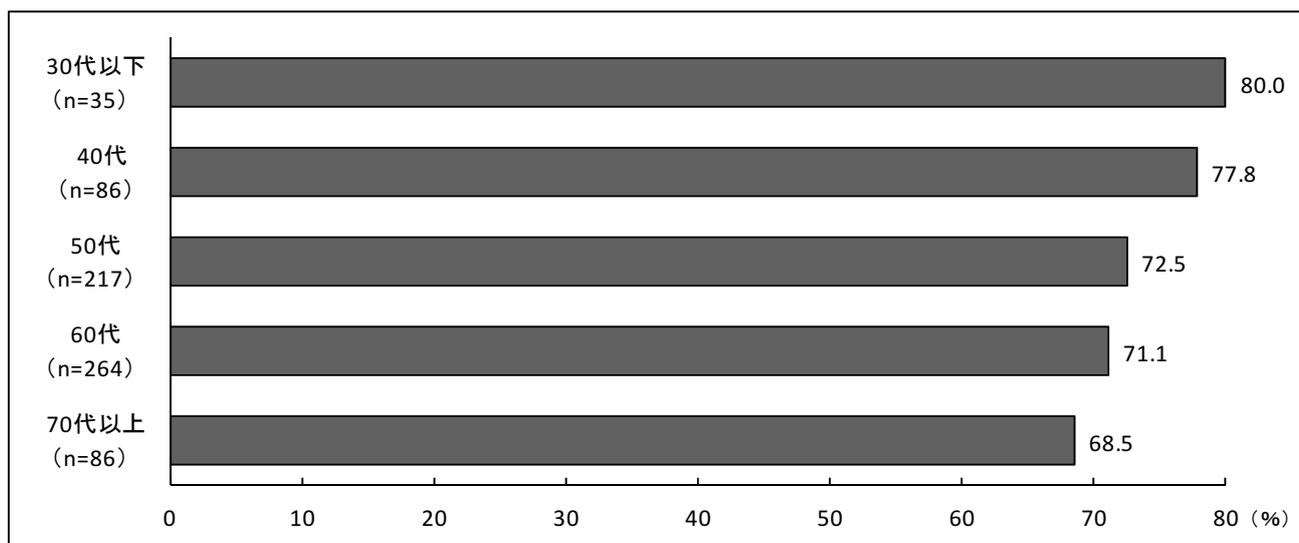
【図 3-4】「精神面が鍛えられる」を選択した割合 (年代別)



【図 3-5】「コミュニケーション能力を養う」を選択した割合（年代別）



【図 3-6】「仲間ができる」を選択した割合（年代別）



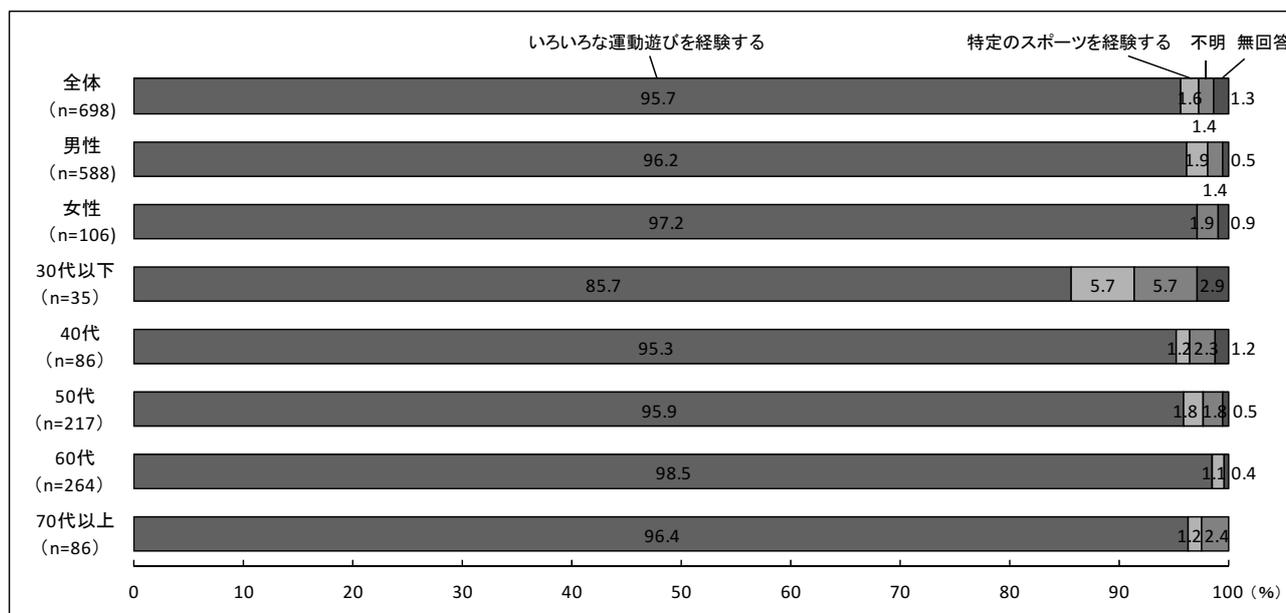
### 3-3 子どもの運動能力向上・運動指導に関する考え

子どもの運動能力を高めるにはどうしたら良いと思うかたずねたところ、「いろいろな運動遊びを経験する」95.7%、「特定のスポーツ活動を経験する」1.6%という回答が得られ、ほとんどの指導者が子どもの運動能力を高めるにはいろいろな運動遊びを経験することの重要性を認識していた（図3-7）。

性別にみると、男女ともほとんどの指導者が「いろいろな運動遊びを経験する」と回答した。また、「特定のスポーツ活動を経験する」と回答した者が男性には1.9%存在するのに対し、女性にはみられなかったことが特徴的である。

年代別にみると、30代以下において「特定のスポーツ活動を経験する」と回答した者が5.7%存在したものの、いずれの年代においても、ほとんどの指導者が「いろいろな運動遊びを経験する」と回答した。

【図3-7】子どもの運動能力向上に関する考え（全体・性別・年代別）

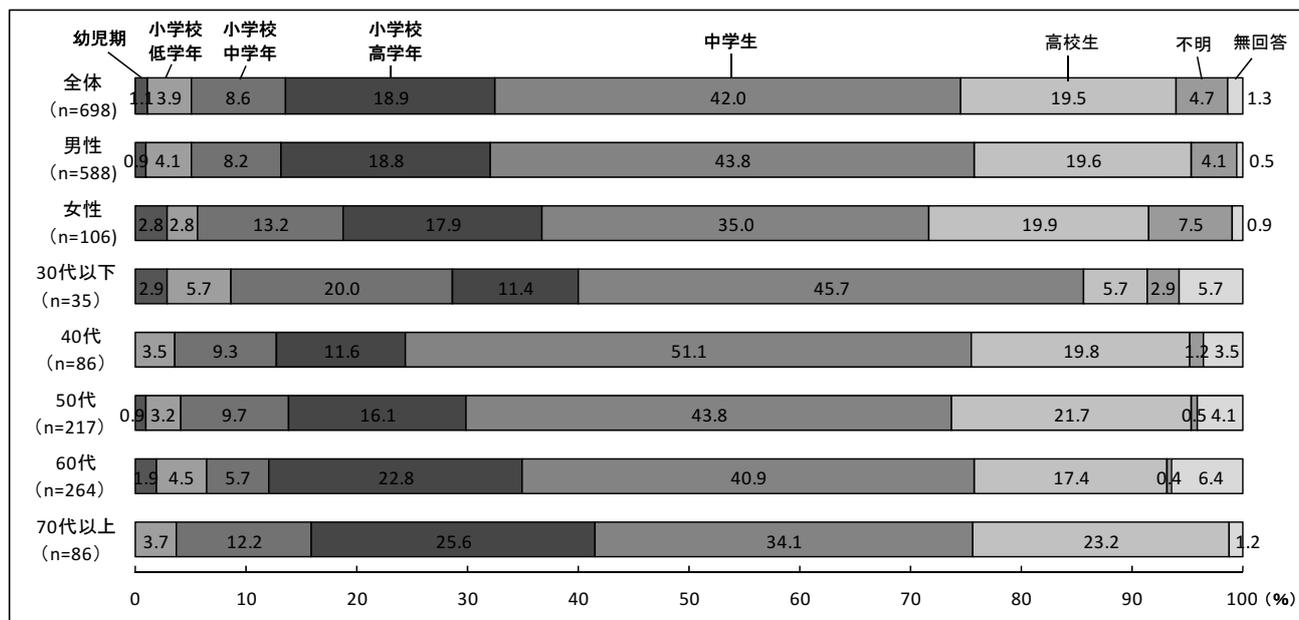


子どもがスポーツ種目をひとつに絞って専門的に行うのに適していると思う時期をたずねたところ、「中学生」が 42.0%と最も多く、次いで「高校生」が 19.5%、「小学校高学年」18.9%、「小学校中学年」8.6%と続いた（図 3-8）。

性別にみると、適していると思う時期に大きな違いはみられないが、「小学校中学年」と回答した男性が 8.2%、女性が 13.2%と、「小学校中学年」と回答した者の割合に若干の違いがみられた。

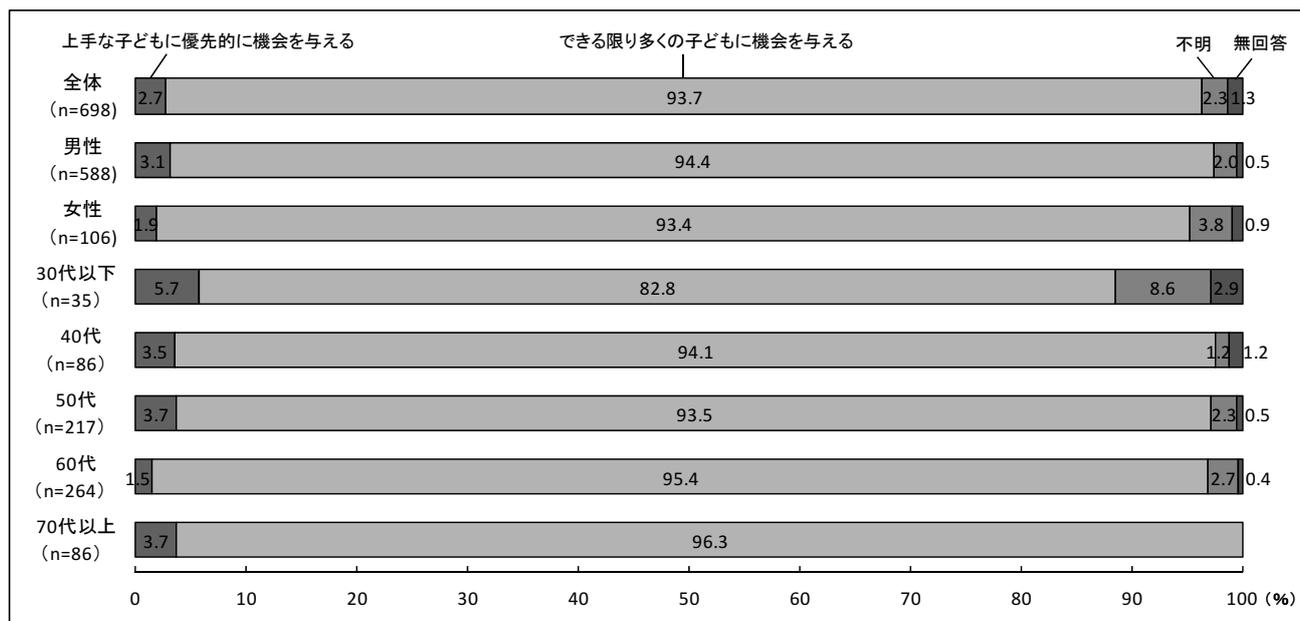
年代別にみると、「幼児期」から「小学校中学年」と回答した者の割合は、「30代以下」が 28.6%と 3割近くを占めているのに対し、他の年代においては 1割程度であった。30代以下の指導者は、幼少年期からスポーツ種目をひとつに絞って行うのが適していると考えていることが示された。

**【図 3-8】子どもがスポーツ種目をひとつに絞って行うのに適していると思う時期（全体・性別・年代別）**



練習試合を含めた子どもの試合参加についての考えをたずねたところ、「できる限り多くの子どもに機会を与える」93.7%、「上手な子どもに優先的に機会を与える」2.7%という回答が得られた（図 3-9）。性別・年代別にみても割合に大きな違いはみられず、ほとんどの指導者が子どもの試合参加に関しては、できる限り多くの子どもに機会を与えたいと考えていることがわかった。

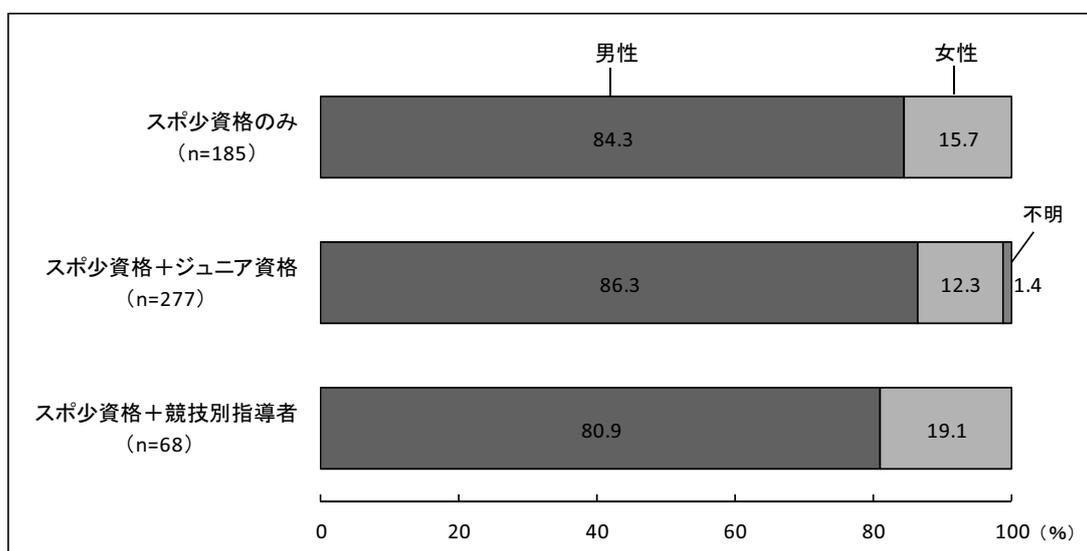
【図 3-9】子どもの試合参加についての考え（全体・性別・年代別）



### 3-4 取得資格別にみる運動・スポーツ指導に関する意識

子どもの運動・スポーツ指導に期待している効果について取得資格による相違を把握するため、対象者を「スポーツ少年団認定員」もしくは「スポーツ少年団認定育成員」のみを取得している群（以下「スポ少資格のみ」と記す）と、スポーツ少年団資格に加え、「少年スポーツ指導者」もしくは「ジュニアスポーツ指導員」を取得している群（以下「スポ少資格+ジュニア資格」と記す）、スポーツ少年団資格に加え、「競技別指導者」を取得している群（以下「スポ少資格+競技別指導者」と記す）に分類した。内訳を性別にみても、どの群も8割以上が男性であり、女性は2割程度であった（図3-10）。また、年代別では「スポ少資格+競技別指導者」において30代以下は存在せず、半数近くが50代であることが特徴的である（図3-11）。

【図3-10】性別にみる取得資格の状況



【図3-11】年代別にみる取得資格の状況

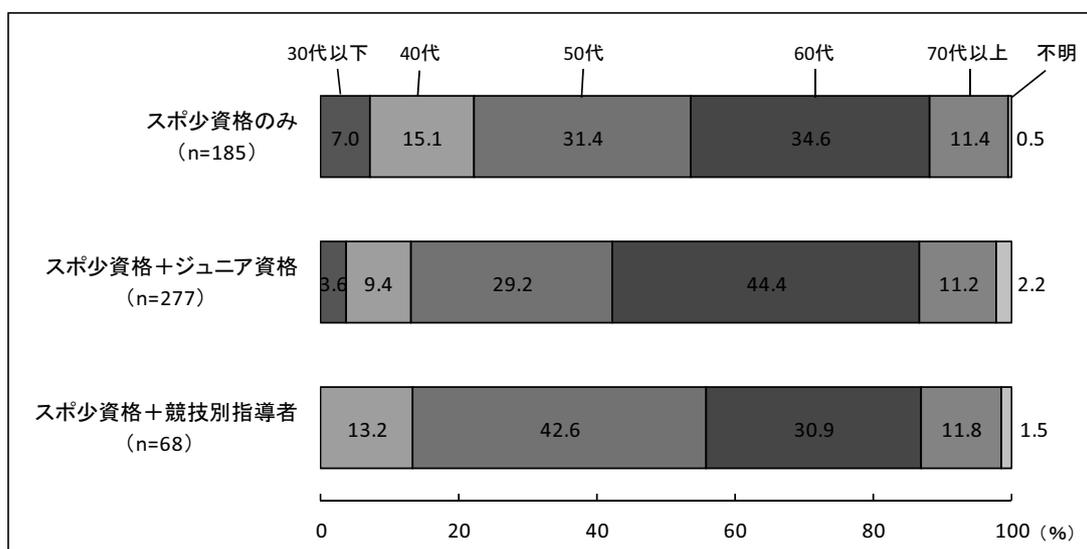


表 3-4 は、取得資格の状況別に子どもの運動・スポーツ指導に期待している効果について「とても当てはまる」「少し当てはまる」の回答をあわせた割合を示したものである。

「学校での体育の成績向上に役立つ」は「スポ少資格＋競技別指導者」が 73.5%と最も多く、次いで「スポ少資格のみ」が 69.2%、「スポ少資格＋ジュニア資格」が 62.1%であり、僅差ではあるが違いがみられた。

図 3-12 から図 3-15 は、子どもの運動・スポーツ指導に期待している効果について「とても当てはまる」と回答し、より強い期待を抱いている者の割合を示したものである。「スポ少資格＋競技別指導者」が「礼儀が身につく」「競技力が向上する」「基本的な運動能力を身につける」「健康な身体を育む」において、他の群よりも高い割合を示している。特に「競技力の向上」「基本的な運動能力の向上」といった技能面により強い期待を抱いていることがうかがえる。また、「スポ少資格＋ジュニア資格」で「競技力の向上」と回答した者が 30.3%であるのに対し、「基本的な運動能力を身につける」と回答した者が 50.2%と半数以上が期待していることがみてとれる。このことから、ジュニア資格を取得している指導者は、子どもの運動・スポーツ指導において、競技力が向上することよりも基本的な運動能力を身につけることに期待を抱く傾向が他の群に比べて強いことがうかがえた。

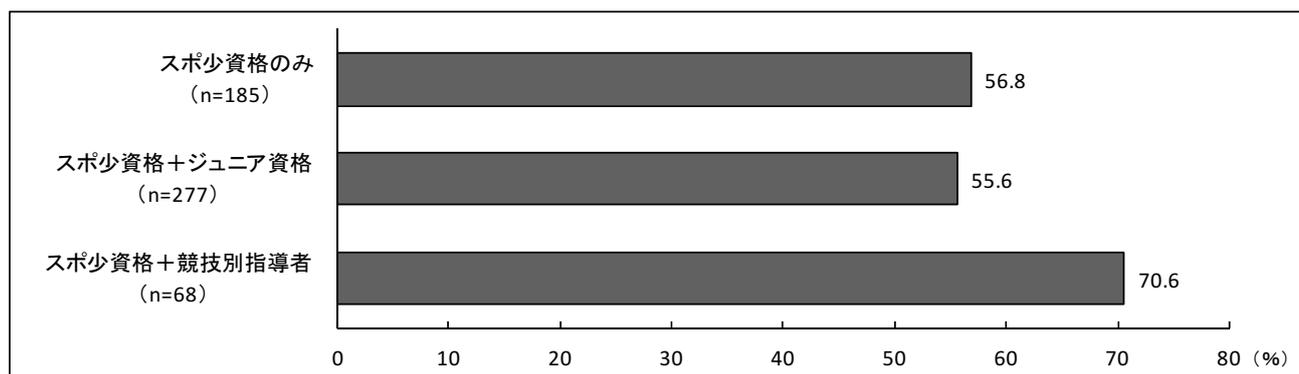
【表 3-4】子どもの運動・スポーツ指導において期待している効果（取得資格別）

(%)

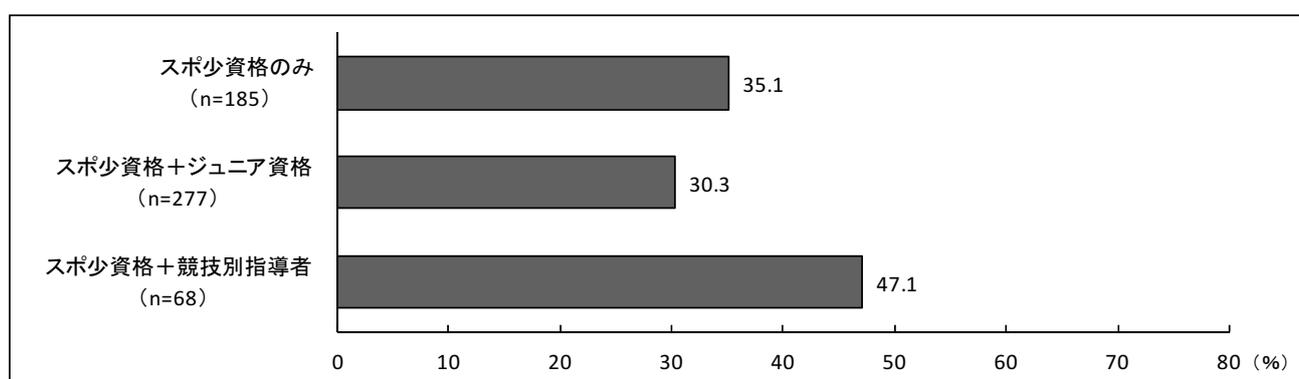
|                  | スポ少資格のみ (n=185) | スポ少資格＋ジュニア資格 (n=277) | スポ少資格＋競技別指導者 (n=68) |
|------------------|-----------------|----------------------|---------------------|
| 礼儀が身につく          | 95.1            | 94.2                 | 94.1                |
| 精神面が鍛えられる        | 91.4            | 88.4                 | 94.1                |
| 競技力が向上する         | 80.5            | 81.2                 | 86.8                |
| 学校での体育の成績向上に役立つ  | 69.2            | 62.1                 | 73.5                |
| コミュニケーション能力を養う   | 84.9            | 88.4                 | 91.2                |
| 運動の楽しさを味わうことができる | 90.8            | 92.1                 | 91.2                |
| 運動に進んで取り組む姿勢を養う  | 87.6            | 85.9                 | 89.7                |
| 仲間ができる           | 96.8            | 96.4                 | 98.5                |
| 基本的な運動能力を身につける   | 89.7            | 91.0                 | 92.6                |
| 健康な身体を育む         | 93.5            | 93.9                 | 98.5                |

※「とても当てはまる」「少し当てはまる」の回答をあわせた割合

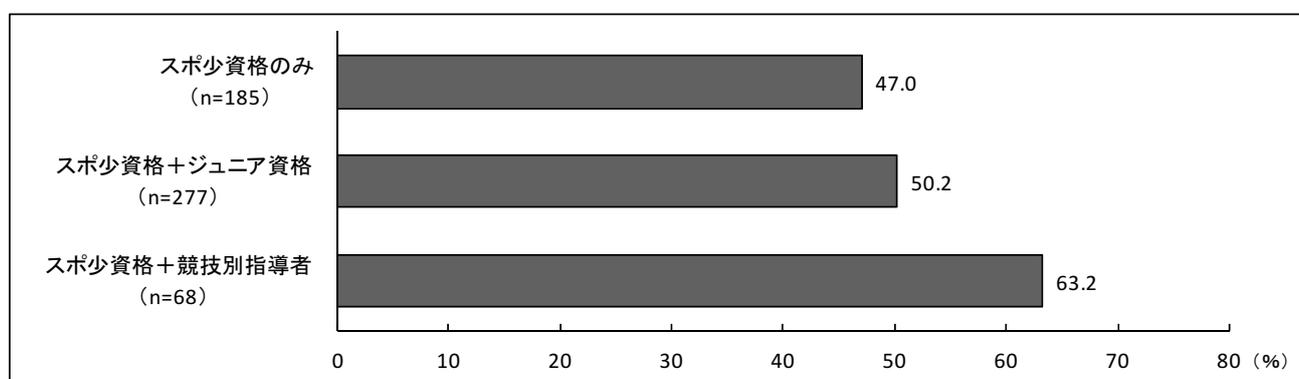
【図 3-12】「礼儀が身につく」を選択した割合（取得資格別）



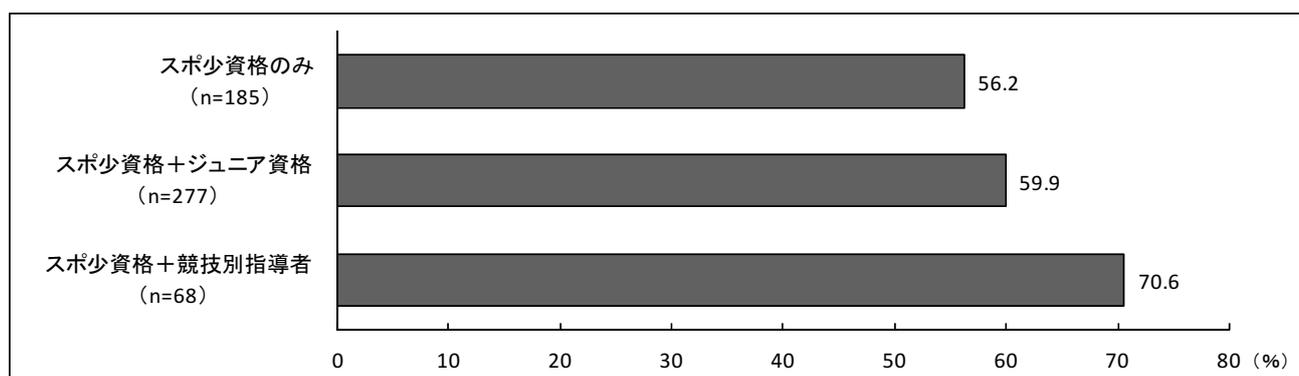
【図 3-13】「競技力が向上する」を選択した割合（取得資格別）



【図 3-14】「基本的な運動能力を身につける」を選択した割合（取得資格別）

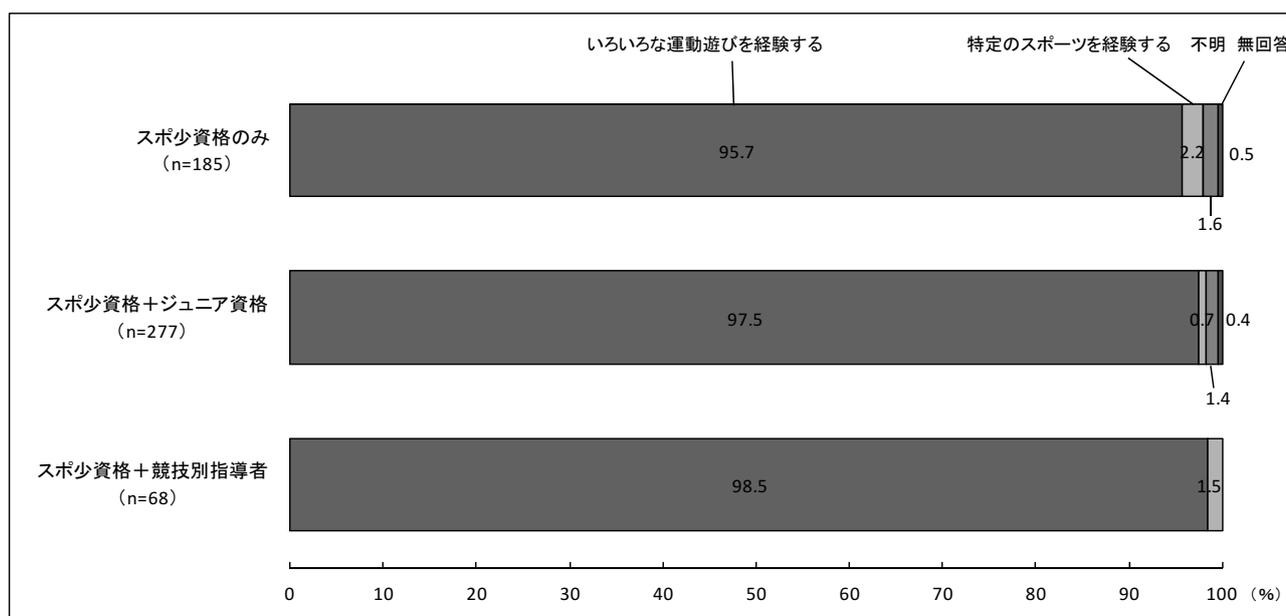


【図 3-15】「健康な身体を育む」を選択した割合（取得資格別）



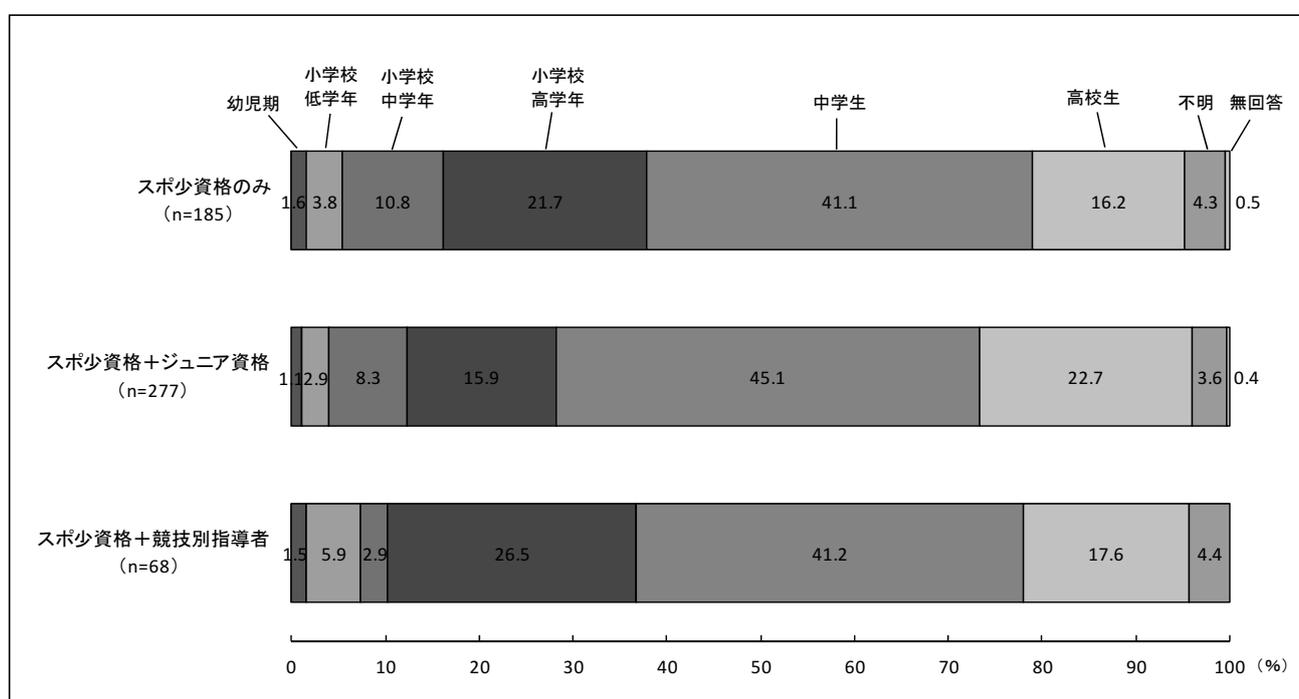
子どもの運動能力向上に関する考えとしては、いずれの群においても「いろいろな遊びを経験する」と回答した割合が 9 割以上を占めており、ほとんどの指導者がいろいろな運動遊びを経験することが体力向上に役立つと考えていることがみてとれた（図 3-16）。

【図 3-16】子どもの運動能力向上に関する考え（取得資格別）



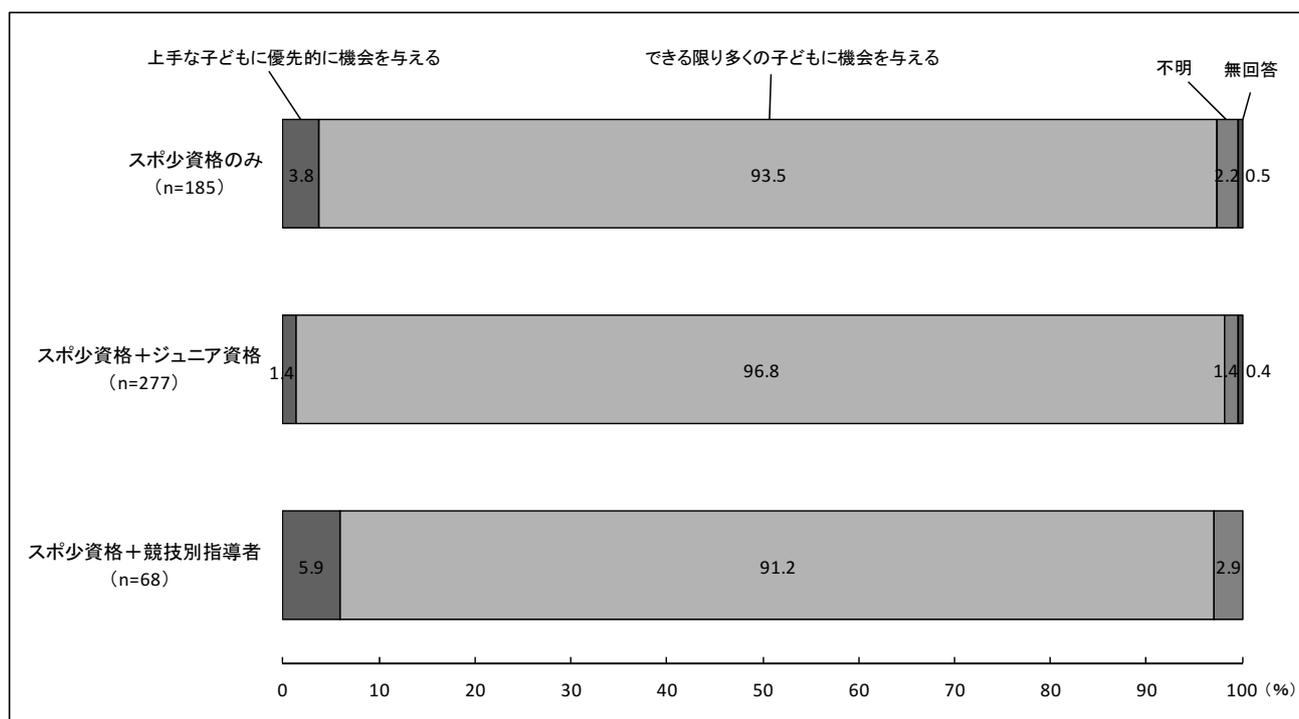
子どもがスポーツ種目をひとつに絞って専門的に行うのに適していると思う時期については、「スポ少資格+ジュニア資格」の指導者は「中学生」「高校生」を選択した割合が他の群に比べて高く、「小学校低学年」「小学校高学年」を選択した割合が他の群に比べて低い(図 3-17)。ジュニア資格を取得している指導者は、他の指導者に比べ、スポーツを専門的に行うのは中学生や高校生になってからのほうが適していると考えられる傾向が示された。

【図 3-17】子どもがスポーツ種目をひとつに絞って行うのに適していると思う時期  
(取得資格別)



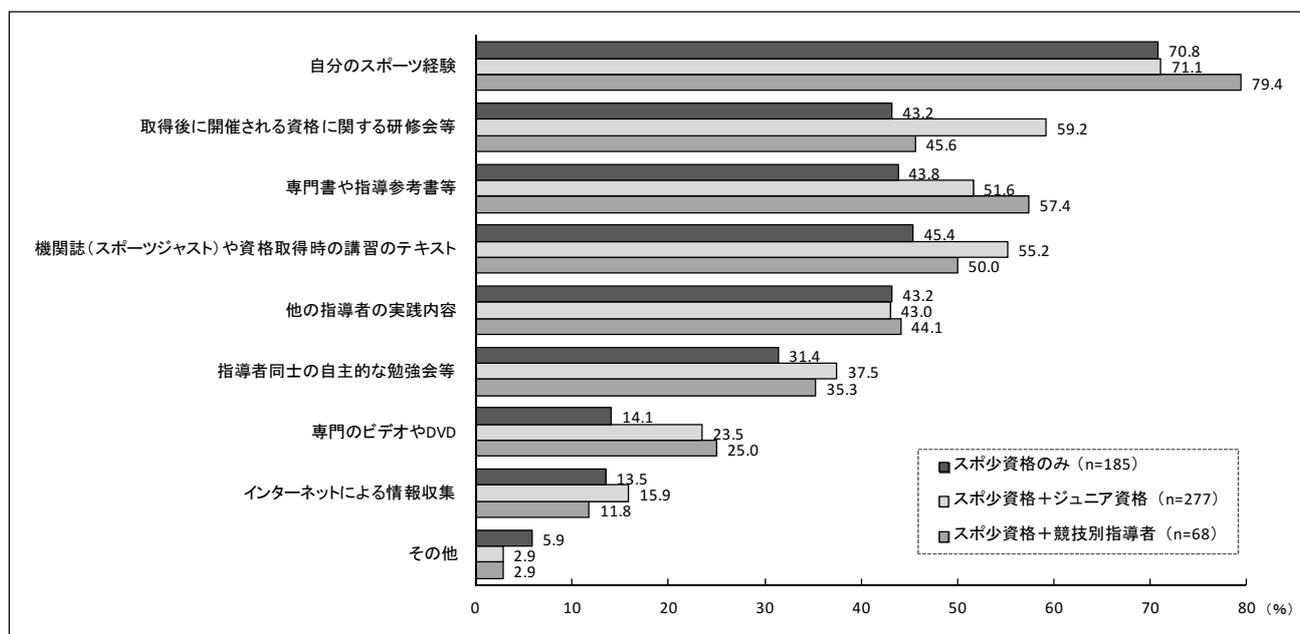
練習試合を含めた子どもの試合参加についての考えとして、「上手な子どもに優先的に機会を与える」という回答は、ジュニア資格を取得している群は1.4%と「競技別指導者資格」や「スポ少資格のみ」と比べて低い傾向がみられた（図3-18）。子どもの運動・スポーツ指導に期待している効果を先に示したが、ジュニア資格取得群よりも競技別指導者資格取得群のほうが「競技力の向上」に関してより強い期待を抱いていることなどが関係していると思われる。

【図3-18】子どもの試合参加についての考え（取得資格別）



指導者が子どもに運動・スポーツを指導する際に参考に使っているものについて取得資格別にみると、「自分のスポーツ経験」がいずれの群でも最も多く、「スポ少+競技別指導者」は79.4%ととりわけ高い割合を示している（図3-19）。また、「スポ少資格のみ」の群では「取得後に開催される資格に関する研修会等」「専門書や指導参考書等」「機関誌（スポーツジャスト）や資格取得時の講習のテキスト」「指導者同士の自主的な勉強会等」「専門のビデオやDVD」が他の群に比べて低い割合を示している。スポ少資格に加えて、ジュニア資格や競技別指導者資格を取得している指導者は、自らのスポーツ経験のみならず、研修会や指導参考書・DVD等を利用して、子どもの運動・スポーツ指導の参考としていることがうかがえた。

【図3-19】運動・スポーツを指導する際に参考に使っているもの（取得資格別）



## （４）外部指導者制度

外部指導者とは、学校の授業や部活動の指導およびその補助のために登用される学校外の人材のことである。平成 22 年に策定されたスポーツ立国戦略において「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造」が掲げられ、少子化に伴う教員数の減少や専門的な指導を行うことができる運動・部活動等の指導者不足を補い、体育・運動部活動における外部指導者の充実を図ることを推進している。外部指導者を活用することで、学校での体育や運動・スポーツの指導を多様化させ、充実することができると考えられる（文部科学省、2010）。そこで、外部指導者の認知度や実施経験についてたずねた。

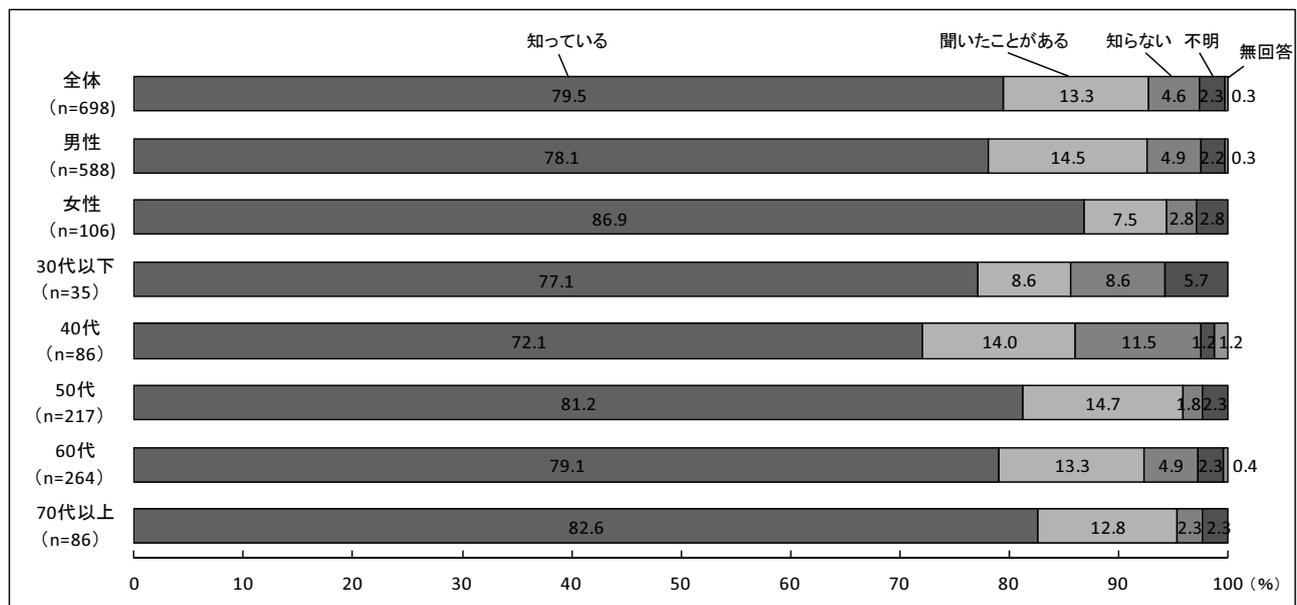
### 4-1 外部指導者制度の認知度

「外部指導者について知っていますか」という問いに対し、「知っている」「聞いたことがある」「知らない」の 3 件法で回答を得た。全体では、外部指導者について「知っている」と回答した者は 79.5%と最も多く、「聞いたことがある」と回答した 13.3%とあわせると、9 割以上が「外部指導者」という言葉を耳にしているようである（図 4-1）。

性別にみると、「知っている」と回答した男性が 78.1%であったのに対し、女性は 86.9%と男性よりも高い割合を示した。

年代別にみると、いずれの年代においても「知っている」と回答した者は 7 割から 8 割にのぼり、「聞いたことがある」を含めるとおよそ 9 割を占める。また、年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向が示された。

【図 4-1】「外部指導者」制度の認知度（全体・性別・年代別）



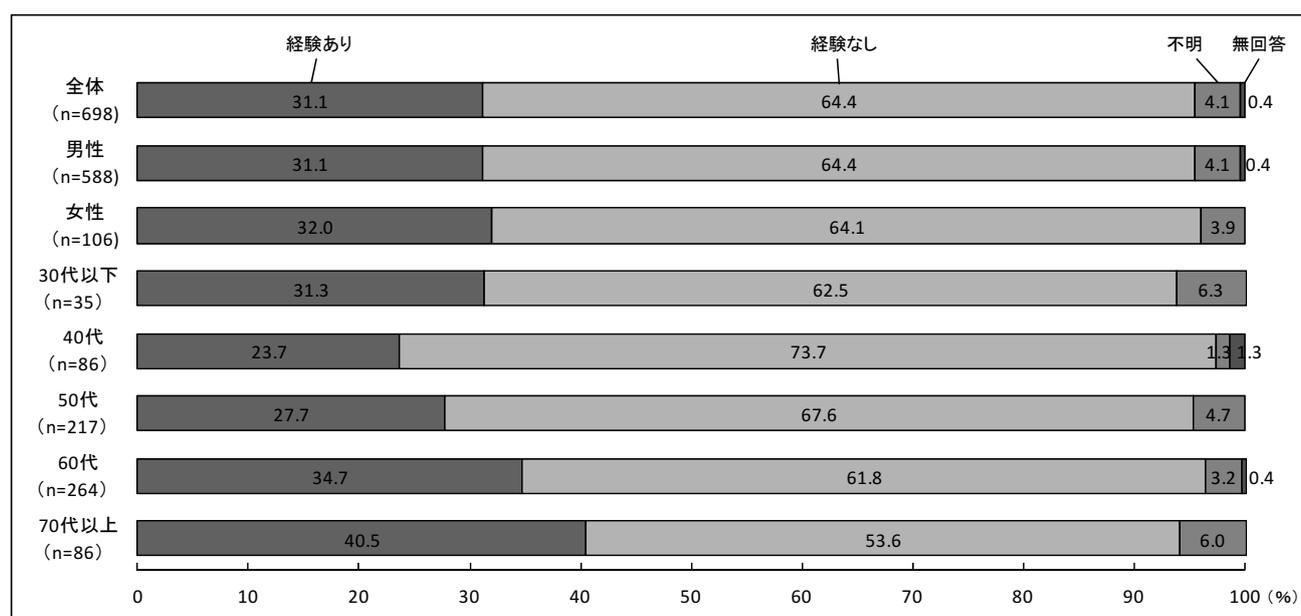
## 4-2 外部指導者の経験の有無

外部指導者について「知っている」「聞いたことがある」と回答した者に対して、外部指導者の経験があるかどうかたずねた。全体では、外部指導者の「経験がある」は31.1%、「経験がない」は64.4%であり、6割以上の指導者が外部指導者としての指導経験がないことが示された（図4-2）。

性別にみると、男女のいずれも同様の値を示し、経験の有無に差はみられなかった。年代別にみると、「経験がある」が40代は23.7%、50代が27.7%であるのに対し、60代が34.7%、70代以上が40.5%と年代が高くなるにつれ、指導経験率が高くなる。

先に示した外部指導者制度の認知度より、「知っている」と回答した者が79.5%、「聞いたことがある」と回答した者が13.3%であり、9割以上が外部指導者制度について知っているもしくは聞いたことがあると回答しているものの、実際に指導経験がある指導者は3割程度にとどまっていることが明らかとなった。

【図4-2】外部指導者の経験の有無（全体・性別・年代別）



### 4-3 外部指導者として指導している種目と指導内容

外部指導者の経験がある者に対して、指導している種目および指導内容についてたずねた。「バレーボール」が13.5%と最も多く、次いで「剣道」が13.0%、「バスケットボール」10.1%、「柔道」7.7%、「サッカー」7.2%と続く（表4-1）。

性別にみると、男性は「剣道」が14.4%と最も多く、次いで「バレーボール」が13.8%、「バスケットボール」12.1%、「サッカー」「柔道」8.6%、「軟式野球」6.9%と続く。一方、女性は「なぎなた」が15.2%と最も多く、次いで「バレーボール」「水泳」が12.1%、「剣道」「卓球」「スキー」6.1%であった。男女ともに上位を占める運動・スポーツ種目は「剣道」「なぎなた」という武道系の種目と「バレーボール」であった。

【表4-1】外部指導者として指導している種目（全体・性別）

| 全体 (n=207) |             |      | 男性 (n=174) |             |        | 女性 (n=33) |            |           |
|------------|-------------|------|------------|-------------|--------|-----------|------------|-----------|
| 順位         | 指導種目        | %    | 順位         | 指導種目        | %      | 順位        | 指導種目       | %         |
| 1          | バレーボール      | 13.5 | 1          | 剣道          | 14.4   | 1         | なぎなた       | 15.2      |
| 2          | 剣道          | 13.0 | 2          | バレーボール      | 13.8   | 2         | バレーボール     | 12.1      |
| 3          | バスケットボール    | 10.1 | 3          | バスケットボール    | 12.1   |           | 水泳         | 12.1      |
| 4          | 柔道          | 7.7  | 4          | サッカー        | 8.6    | 4         | 剣道         | 6.1       |
| 5          | サッカー        | 7.2  |            | 柔道          | 8.6    |           | 卓球         | 6.1       |
| 6          | 軟式野球        | 5.8  | 6          | 軟式野球        | 6.9    | 7         | スキー        | 6.1       |
| 7          | ソフトボール      | 5.3  | 7          | ソフトボール      | 6.3    |           | 複合種目       | 3.0       |
| 8          | 空手道         | 4.8  | 8          | 空手道         | 5.7    |           | 柔道         | 3.0       |
|            | 陸上競技        | 3.8  |            | 9           | 陸上競技   |           | 4.6        | ソフトテニス    |
| 9          | スキー         | 3.8  | 10         | スキー         | 3.4    |           | 体操         | 3.0       |
|            | 卓球          | 3.4  |            | 11          | バドミントン |           | 3.4        | バドミントン    |
| 11         | バドミントン      | 3.4  | 12         | 卓球          | 2.9    |           | 運動遊び(体づくり) | 3.0       |
|            | ソフトテニス      | 2.9  |            | 13          | ソフトテニス |           | 2.9        | ゲートボール    |
| 13         | 水泳          | 2.9  | 14         | 水泳          | 1.1    |           | ハンドボール     | 3.0       |
|            | なぎなた        | 2.4  |            | 15          | 硬式テニス  |           | 1.1        | リズムトレーニング |
| 16         | 複合種目        | 1.0  | 16         | 複合種目        | 0.6    |           |            |           |
|            | 体操          | 1.0  |            | 少林寺拳法       | 0.6    |           |            |           |
|            | 硬式テニス       | 1.0  |            | 体操          | 0.6    |           |            |           |
| 19         | 少林寺拳法       | 0.5  |            | クロスカントリースキー | 0.6    |           |            |           |
|            | 運動遊び(体づくり)  | 0.5  |            | ラグビー        | 0.6    |           |            |           |
|            | クロスカントリースキー | 0.5  |            | ティーボール      | 0.6    |           |            |           |
|            | ラグビー        | 0.5  |            | 硬式野球        | 0.6    |           |            |           |
|            | ティーボール      | 0.5  |            |             |        |           |            |           |
|            | ゲートボール      | 0.5  |            |             |        |           |            |           |
|            | 硬式野球        | 0.5  |            |             |        |           |            |           |
|            | ハンドボール      | 0.5  |            |             |        |           |            |           |
| リズムトレーニング  | 0.5         |      |            |             |        |           |            |           |

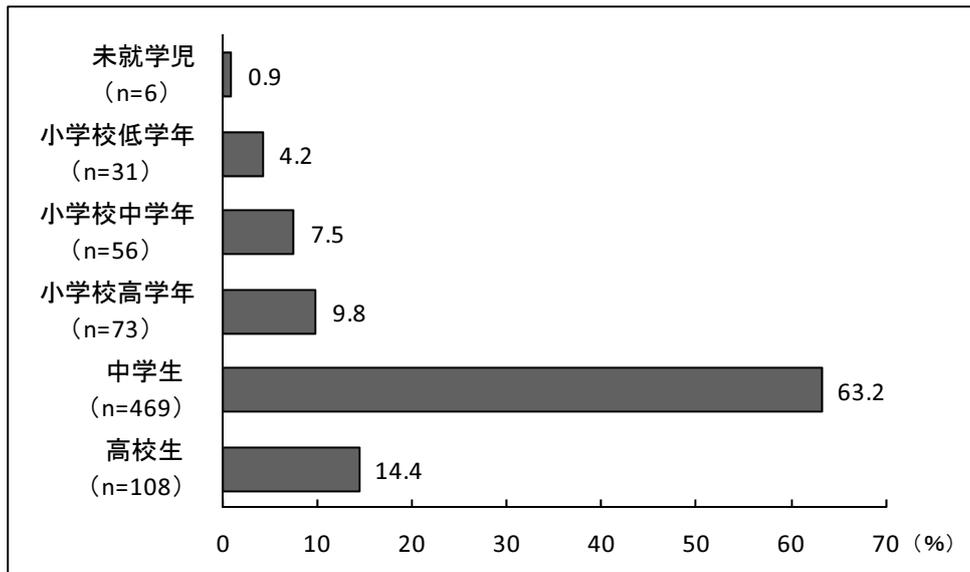
外部指導者として指導している子どもの年代は、「中学生」が63.2%と最も多く、次いで「小学生」が21.5%、「高校生」14.4%、「未就学児」0.9%と続く（図4-3）。活動場所については「部活動」が81.6%と8割以上を占めており、「体育授業」は13.2%であった（図4-4）。指導頻度については、「週1回以上週2回未満（52～103回/年）」が18.0%と最も多く、次いで「週1回未満（1～51回/年）」が17.4%、「週2回以上週3回未満（104～155回/年）」16.0%と続いた（表4-2）。

また、体育授業および部活動において指導している種目を表4-3に示した。体育授業において指導している種目は「剣道」が17.9%と最も多く、次いで「スキー」が14.3%、「柔道」「水泳」10.7%と続く。一方、部活動において指導されている種目は「バレーボール」が14.5%と最も多く、次いで「バスケットボール」「剣道」が11.6%、「サッカー」8.1%、「柔道」7.0%、「ソフトボール」6.4%と続く。

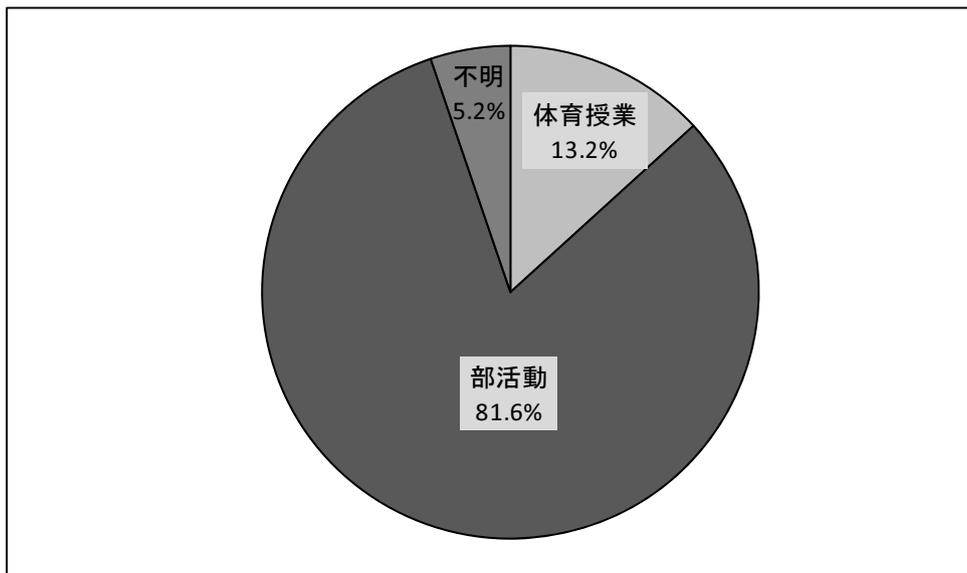
指導種目において、「バレーボール」「バスケットボール」「サッカー」「軟式野球」など中学校で行われる代表的な運動部活動種目や「剣道」「柔道」などの武道系種目が上位を占めており、指導している子どもの年代が「中学生」63.2%である今回の結果からは、外部指導者が中学校の部活動において多く活用されている実態が明らかとなった。

文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」（2010）における外部指導者を活用した取組の事例報告によると、小学校では水泳教室やスキー教室などの実施にあたって専門的な知識と技能を要求される場合に外部指導者を活用している事例が示されている。また中学校では、専門的な指導者を運動部活動の場で活用している場合や学習指導要領の改訂によって新たに必修化される「武道」の授業において外部指導者を活用している事例が多く示されている。今後、さらに「外部指導者」を充実させていくことで、学校体育・運動部活動が活性化し、子どもたちの豊かなスポーツライフを実現することにつながると考えられる。

【図 4-3】 外部指導者として指導している子どもの年代



【図 4-4】 外部指導者として指導している活動場所



【表 4-2】 外部指導者としての指導頻度

| 指導頻度                   | n  | %    |
|------------------------|----|------|
| 週1回未満(1~51回/年)         | 37 | 17.4 |
| 週1回以上週2回未満(52~103回/年)  | 38 | 18.0 |
| 週2回以上週3回未満(104~155回/年) | 34 | 16.0 |
| 週3回以上週4回未満(156~207回/年) | 26 | 12.3 |
| 週4回以上週5回未満(208~259回/年) | 24 | 11.3 |
| 週5回以上週6回未満(260~311回/年) | 13 | 6.1  |
| 週6回以上週7回未満(312~363回/年) | 10 | 4.7  |
| 週7回以上(364回/年)          | 1  | 0.5  |
| 不明                     | 29 | 13.7 |

【表 4-3】 外部指導者として体育授業および部活動において指導している種目

| 体育授業 (n=28) |             |        | 部活動 (n=173) |          |      |
|-------------|-------------|--------|-------------|----------|------|
| 順位          | 指導種目        | %      | 順位          | 指導種目     | %    |
| 1           | 剣道          | 17.9   | 1           | バレーボール   | 14.5 |
| 2           | スキー         | 14.3   | 2           | バスケットボール | 11.6 |
| 3           | 柔道          | 10.7   |             | 剣道       | 11.6 |
|             | 水泳          | 10.7   | 4           | サッカー     | 8.1  |
| 5           | バレーボール      | 7.1    | 5           | 柔道       | 7.0  |
|             | なぎなた        | 7.1    | 6           | ソフトボール   | 6.4  |
| 8           | サッカー        | 3.6    | 7           | 軟式野球     | 5.8  |
|             | 複合種目        | 3.6    | 8           | 空手道      | 5.2  |
|             | バスケットボール    | 3.6    | 9           | 陸上競技     | 4.7  |
|             | 空手道         | 3.6    | 11          | 卓球       | 3.5  |
|             | 体操          | 3.6    |             | ソフトテニス   | 3.5  |
|             | 運動遊び(体づくり)  | 3.6    |             | バドミントン   | 3.5  |
|             | クロスカントリースキー | 3.6    | 14          | スキー      | 2.3  |
| 15          | 水泳          | 1.2    | 15          | 硬式テニス    | 1.2  |
|             | 硬式テニス       | 1.2    |             | なぎなた     | 1.2  |
|             | なぎなた        | 1.2    |             | 18       | 複合種目 |
| 複合種目        | 0.6         | 少林寺拳法  | 0.6         |          |      |
| 少林寺拳法       | 0.6         | 体操     | 0.6         |          |      |
| 体操          | 0.6         | ラグビー   | 0.6         |          |      |
| ラグビー        | 0.6         | ゲートボール | 0.6         |          |      |
| ゲートボール      | 0.6         | 硬式野球   | 0.6         |          |      |
| 硬式野球        | 0.6         | ハンドボール | 0.6         |          |      |
| ハンドボール      | 0.6         |        |             |          |      |

## (5) 指導者自身の運動・スポーツ活動歴

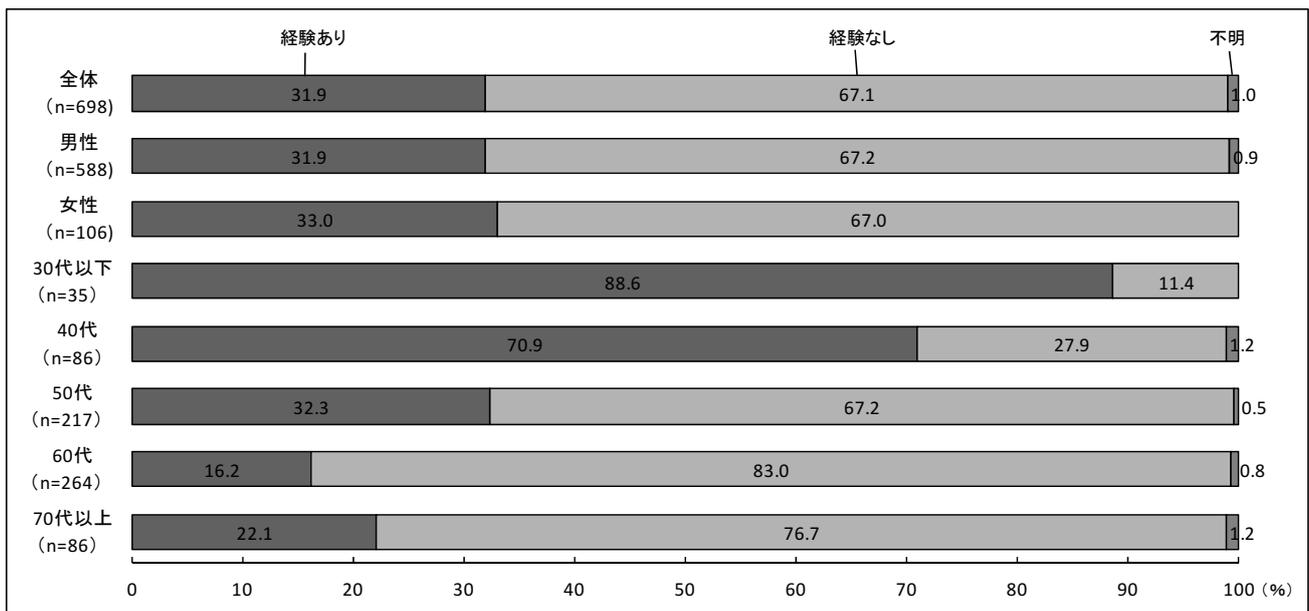
### 5-1 幼少年期における運動・スポーツ組織への加入歴

本調査では、対象者自身の「幼少年期（年少～小学校 6 年生）における運動・スポーツ組織への加入歴」をたずねた。このような運動・スポーツ組織への加入歴、すなわち運動・スポーツ活動歴は、成人になってからの運動・スポーツ実施を規定する重要な要因であると考えられ、さまざまな角度からの分析が期待される。

全体の結果をみると、幼少年期において運動・スポーツ組織への加入経験のない者が 67.1%と 7 割近くを占め、加入経験のある者は 31.9%と 3 割程度であった(図 5-1)。性別にみても、男性・女性ともに加入経験のある者は 3 割程度であり、性別によって運動・スポーツ組織への加入経験に大きな違いはみられなかった。

しかし、年代別にみると、運動・スポーツ組織への加入経験は年代による差が大きい。加入経験のある「30 代以下」は 88.6%と 9 割近くを占めているのに対し、「40 代」70.9%、「50 代」32.3%、「60 代」16.2%、「70 代以上」22.1%と年代が高くなるほど加入の経験は低くなることがみてとれる。笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(2010)によると、青少年期におけるスポーツクラブや同好会への加入率は、年代が高くなるほど減少するという同様の結果が示されている。子どもの運動・スポーツ組織の中心である「日本スポーツ少年団」は 1962 年(昭和 37 年)に創設されており、50 代以上の多くの指導者は幼少年期において、運動・スポーツ組織以外での運動・スポーツ活動の経験が多いことが考えられる。

【図 5-1】指導者自身の幼少年期における運動・スポーツ組織への加入経験の有無  
(全体・性別・年代別)



## 5-2 幼少年期における運動・スポーツ実施状況

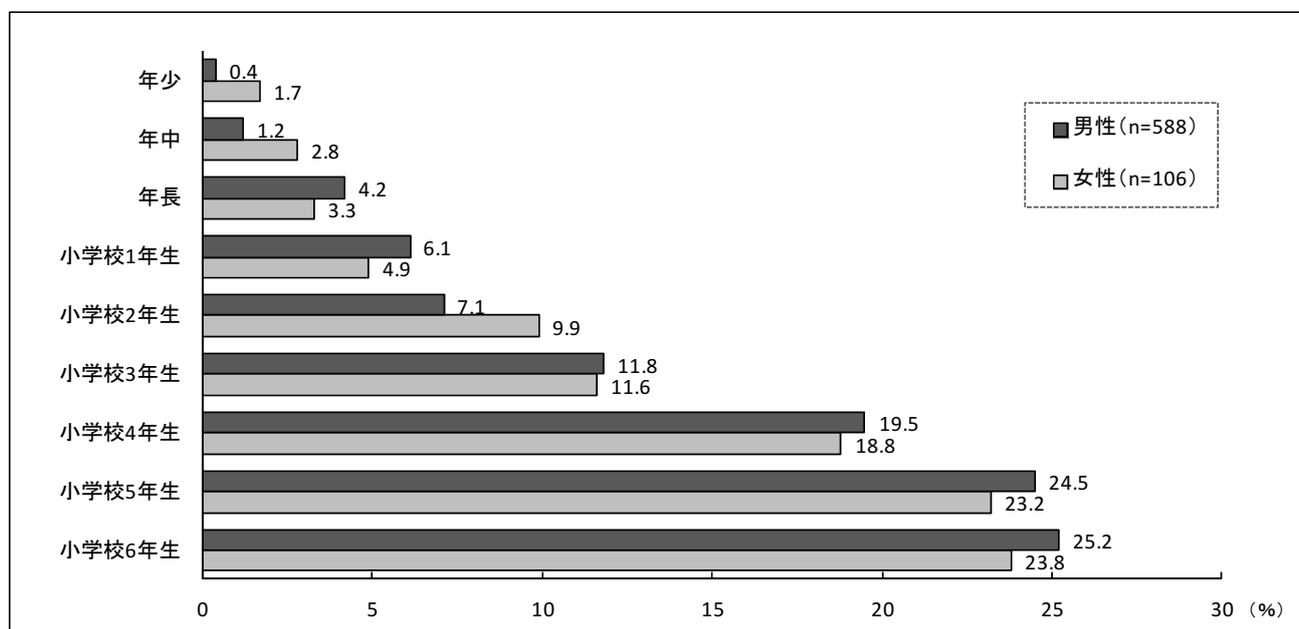
幼少年期（年少～小学校6年生）において運動・スポーツ組織へ加入した経験があると回答した者が、どの年代において活動していたのかを図5-2に示した。

性別にみると、年少から小学校6年生にかけて年代が上がるにつれ、男女ともに運動・スポーツ組織への加入率が高くなっており、特に小学校3年生から4年生にかけての実施率が高くなっていることがみてとれる。

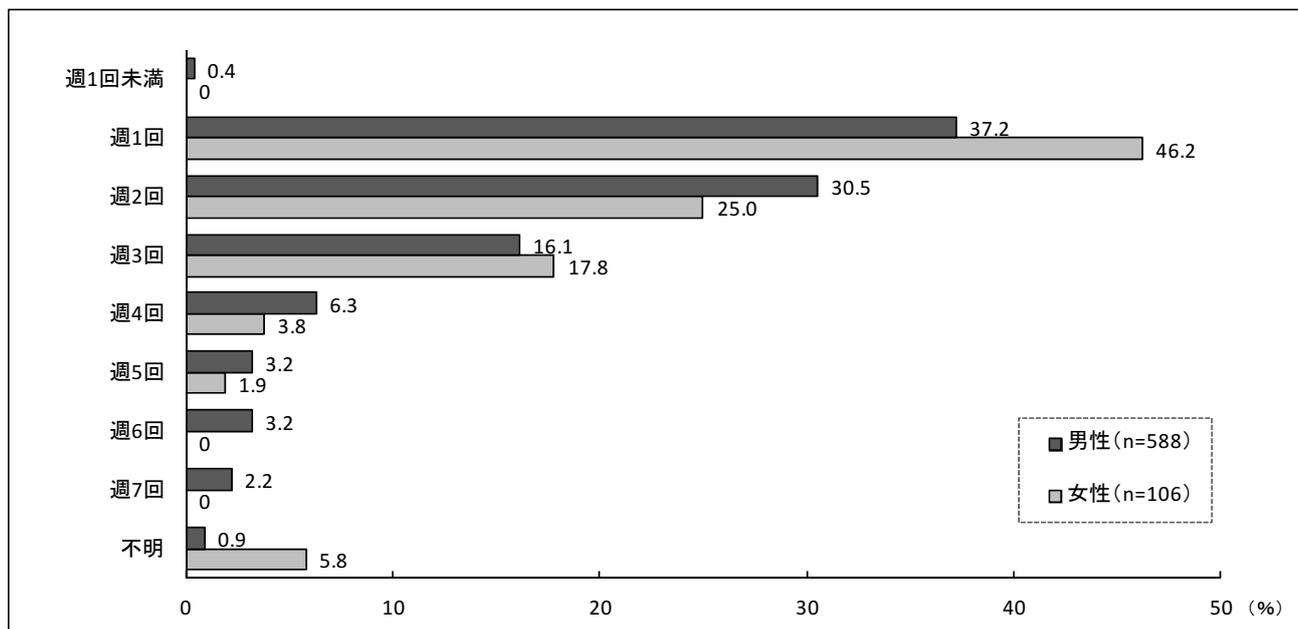
幼少年期における運動・スポーツの実施頻度は、「週1回」が男性37.2%、女性46.2%で最も多く、次いで「週2回」が男性30.5%、女性25.0%、「週3回」が男性16.1%、女性17.8%と続く（図5-3）。男女ともに「週1～3回」が8割から9割を占め、ほとんどの指導者が週1～3回程度の運動・スポーツ活動を行っていたことが示された。

運動・スポーツ実施時間は、「60分以上120分未満」が男性57.8%、女性55.8%で最も多く、半数以上の指導者が1回あたり60分以上120分未満の運動・スポーツ活動を行っていた。次いで「60分未満」が男性16.6%、女性26.9%、「120分以上180分未満」が男性17.9%、女性17.3%と続く（図5-4）。また、「180分以上」と回答した者は男性5.5%存在したが、女性にはみられなかった。

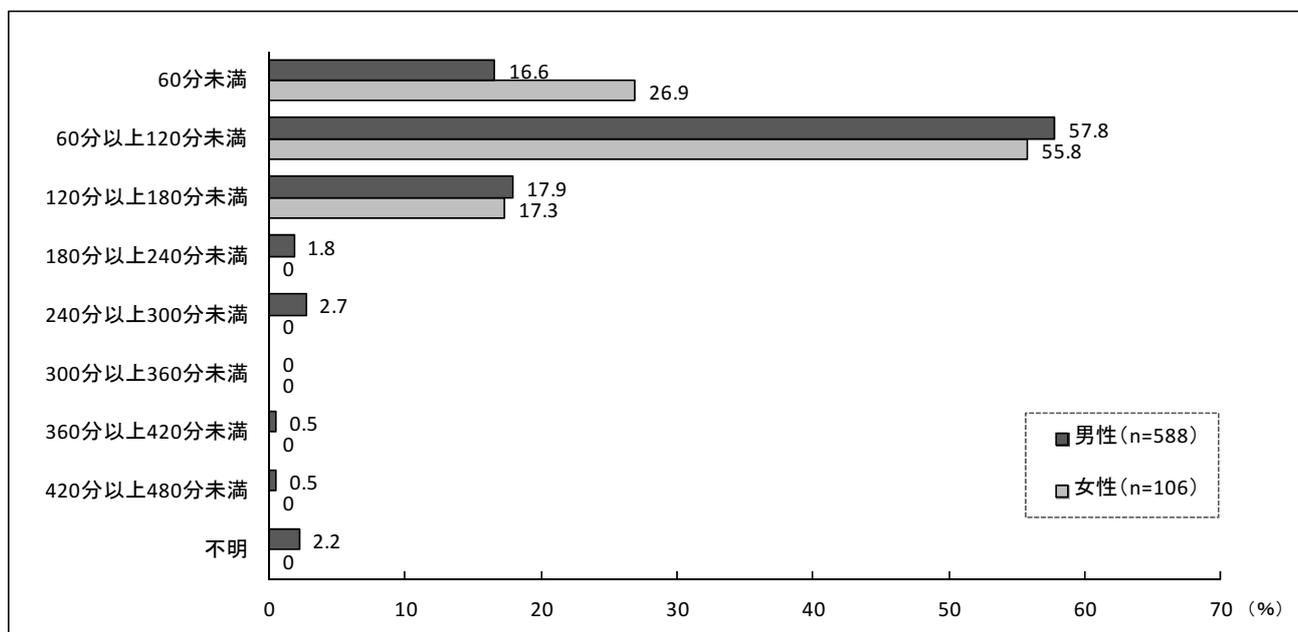
【図5-2】指導者自身の幼少年期における運動・スポーツ組織への加入時期（性別）



【図 5-3】指導者自身の幼少年期における運動・スポーツ実施頻度（性別）



【図 5-4】指導者自身の幼少年期における運動・スポーツ実施時間（性別）



### 5-3 種目別にみる運動・スポーツ実施状況

指導者自身が幼少年期（年少～小学校 6 年生）に行っていた運動・スポーツの種目を表 5-1 に示した。「軟式野球」が 22.4%と最も多く、次いで「剣道」が 21.5%、「ソフトボール」11.7%、「サッカー」9.4%、「水泳」9.0%、「柔道」7.2%、「空手道」5.8%、「複合種目」「バレーボール」5.4%、「卓球」4.0%と続く。

性別にみると、男性の実施率 10%を超える運動・スポーツ種目は「軟式野球」「剣道」「ソフトボール」「サッカー」である。一方、女性の実施率 10%を超える運動・スポーツ種目は「バレーボール」「水泳」「剣道」「複合種目」「体操」であり、男女共通して実施率が 10%を超える運動・スポーツ種目はみられなかった。また、性別で実施している運動・スポーツ種目の数に着目すると、男性が 25 種目と全体の 9 割近くを占めているのに対し、女性は 17 種目と 6 割程度にとどまっており、実施する運動・スポーツ種目の選択肢が狭いことが推測される。

【表 5-1】指導者自身が幼少年期に行っていた運動・スポーツ種目（全体・性別）

| 全体 (n=223) |           |           | 男性 (n=188) |           |      | 女性 (n=35) |           |      |
|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------|-----------|-----------|------|
| 順位         | 実施種目      | %         | 順位         | 実施種目      | %    | 順位        | 実施種目      | %    |
| 1          | 軟式野球      | 22.4      | 1          | 軟式野球      | 26.6 | 1         | バレーボール    | 22.9 |
| 2          | 剣道        | 21.5      | 2          | 剣道        | 22.3 |           | 水泳        | 22.9 |
| 3          | ソフトボール    | 11.7      | 3          | ソフトボール    | 12.8 | 3         | 剣道        | 17.1 |
| 4          | サッカー      | 9.4       | 4          | サッカー      | 11.2 | 4         | 複合種目      | 14.3 |
| 5          | 水泳        | 9.0       | 5          | 柔道        | 8.0  | 5         | 体操        | 11.4 |
| 6          | 柔道        | 7.2       | 6          | 水泳        | 6.4  | 6         | 空手道       | 8.6  |
| 7          | 空手道       | 5.8       | 7          | 空手道       | 5.3  |           | 卓球        | 8.6  |
| 8          | 複合種目      | 5.4       | 8          | 複合種目      | 3.7  | 8         | バスケットボール  | 5.7  |
|            | バレーボール    | 5.4       | 9          | バスケットボール  | 3.2  |           | ソフトボール    | 5.7  |
| 10         | 卓球        | 4.0       |            | 卓球        | 3.2  |           | 陸上競技      | 5.7  |
| 11         | バスケットボール  | 3.6       | 12         | 陸上競技      | 3.2  |           | アイススケート   | 5.7  |
|            | 陸上競技      | 3.6       |            | バレーボール    | 2.1  | 柔道        | 2.9       |      |
| 13         | 体操        | 2.7       | 12         | スキー       | 2.1  | スキー       | 2.9       |      |
| 14         | スキー       | 2.2       |            | ソフトテニス    | 1.1  | 硬式テニス     | 2.9       |      |
| 15         | ソフトテニス    | 0.9       | 14         | 体操        | 1.1  | 12        | バドミントン    | 2.9  |
|            | 硬式テニス     | 0.9       |            | 相撲        | 1.1  |           | フィギュアスケート | 2.9  |
|            | バドミントン    | 0.9       | 17         | 少林寺拳法     | 0.5  |           | 合気道       | 2.9  |
|            | 相撲        | 0.9       |            | 硬式テニス     | 0.5  |           |           |      |
|            | アイススケート   | 0.9       |            | バドミントン    | 0.5  |           |           |      |
| 少林寺拳法      | 0.4       | アウトドアスポーツ |            | 0.5       |      |           |           |      |
| アウトドアスポーツ  | 0.4       | ラグビー      |            | 0.5       |      |           |           |      |
| 20         | ラグビー      | 0.4       | 17         | ジュニアリーダー会 | 0.5  |           |           |      |
|            | ジュニアリーダー会 | 0.4       |            | ボウリング     | 0.5  |           |           |      |
|            | ボウリング     | 0.4       |            | 硬式野球      | 0.5  |           |           |      |
|            | フィギュアスケート | 0.4       |            | ハンドボール    | 0.5  |           |           |      |
|            | 合気道       | 0.4       |            |           |      |           |           |      |
|            | 硬式野球      | 0.4       |            |           |      |           |           |      |
|            | ハンドボール    | 0.4       |            |           |      |           |           |      |

## IV. 提言

日本スポーツ少年団は 1962 年に創設され、2012 年に設立 50 周年を迎えた我が国最大の青少年スポーツ団体である。2011 年度の登録少年団数は 35,685 団、登録団員数は 834,040 人、登録指導者数は 202,416 人（内、スポーツ少年団認定育成員または育成員の資格保有者は 114,194 人）である。

本調査では、主として各都道府県におけるスポーツ少年団において中心的に活動を推進しているスポーツ少年団認定育成員を対象として、我が国の子どもの運動・スポーツ活動に関する指導者の意識や考え方の実態を把握したものである。

本調査において明らかにされた結果より、以下のような提言をする。

### 1. 子ども達が多種目の運動・スポーツを経験できる仕組みづくり

今日の我が国の子どもの運動・スポーツの問題点の一つとして、様々な運動遊びや複数のスポーツを経験することなく、単一スポーツのみを実施していることが挙げられる。諸外国では、様々な運動遊びや複数のスポーツを経験した後、小学校高学年から中学生にかけて子ども自身がやってみたいスポーツや、得意とするスポーツを選択し、専門的な練習やトレーニングを実施する仕組みをつくっている国が多い。

本調査においても、「複合種目」を指導している指導者は、全体の 9.3%にとどまり、単一スポーツの指導者が大多数を占めていた。一方、ほとんどの指導者は子どもの運動能力を高めるには、いろいろな運動遊びを経験することが重要であると認識していた。

一人の指導者が複数のスポーツ種目を指導することは、困難であると考えられる。したがって、同一地域の指導者が連携し合って、子ども達が様々な運動遊びや複数のスポーツを経験できるような仕組みをつくっていくことが必要であると考えられる。このような仕組みをつくることで、子どもが運動におもしろくのめり込むことができ、さらにスポーツ種目を選択する機会を増やし、その後の運動・スポーツの継続に効果的な実践が可能となる。

### 2. 発育発達段階の異なる子どもへの指導のあり方

指導している子どもの年代は、小学生が 7 割以上を占めていたが、中学生や幼児を対象としている指導者も多く存在していた。また子どもが一つのスポーツ種目を専門的に行うのに適していると思う時期は、「中学生・高校生」が 61.5%と多い割合を占めていた。したがって、指導者が子どもの体と心の発育発達段階に応じた運動・スポーツ指導のあり方を周知することが重要であると考えられる。

幼少年期において子どもの発育発達段階に応じた運動・スポーツのあり方は、以下のようになっている。

### ①幼児期（3～5歳ごろ）

走る、跳ぶ、投げるといった基本的な運動ができるようになる段階であり、またバランス感覚も良くなっていく時期である。遊びの中にいろいろな動きの要素を取り入れることで、基本的な動きの多様化や洗練化が図られていく。徐々に自分の体をうまくコントロールできるようになり、動きのレパートリーやバリエーションを増やしていくことに適した段階である。

### ②小学校低・中学年（6～9歳ごろ）

心の発達をもとに、自分の意志をもって運動ができるようになっていく時期である。幼児期までにできるようになった基本的な動きが上手になり、動きの洗練化がいつそう進む段階でもある。また、この時期には一つひとつの基本的な動きだけではなく、動きを組み合わせる複雑な動きに挑戦したり、音楽やリズムに合わせて体を動かしたりするなど、子どもがおもしろくのめり込む要素を盛り込んだ運動を基本として、運動の日常化・生活化を図ることが望ましいといえる。さまざまなスポーツとの出会いの時期でもある。

### ③小学校高学年（10～11歳）

体型が大きくなるとともに、筋力や持久力も徐々に発達していく。スポーツなどの複雑な動きや力強い動きも次第にできるようになってくる。また認知的な発達をもとに、さまざまなことを理解し、運動にも応用できるようになっていく。スポーツを実施していく基盤ができていく段階ととらえることができる。単一のスポーツ種目にこだわるのではなく、いろいろなスポーツ種目を経験することによって、次第に自分の専門スポーツ種目を見つけ、スポーツに傾斜していくことが大切である。

## 3. 指導者の力量を高めていくための方策

指導者が、今日の子どもの体力・運動能力低下の現状を捉えて、子どもの運動・スポーツの問題点と課題を多面的に把握するためには、今日的なニーズに応じた指導者の養成、育成のための研修の機会を検討することが必要であると考えられる。

また、理論とともに具体的な運動実践の実技を連動した研修内容が必要であり、子どもの運動・スポーツ指導のあり方を学んだ上で、その内容を具体的な実技研修で体験することにより、望ましい子どもの運動・スポーツについての研修効果をあげることができると考えられる。

## 4. 園や学校との連携の推進

「スポーツ基本計画」（2012）では、学校体育の充実に向けて、地域のスポーツ指導者を活用し、小学校全体の体育の授業を計画したり、担任とのチームティーチングで体育の授業に取り組む「小学校体育活動コーディネーター」の整備を図ることを具体的な施策としている。また中学校での武道の指導や部活動の充実に向けた地域スポーツ指導者の外部指導者としての導入を推進している。さらに2012年3月に我が国で

初めて策定された「幼児期運動指針」による幼児期の運動遊びを実践するためにも、幼児の発育発達特性を理解した上で、幼稚園・保育園での、地域スポーツ指導者の活動が期待されるものと考えられる。

本調査において、外部指導者について「知っている」「聞いたことがある」との回答は9割以上であったが、その中で実際に外部指導者の経験がある指導者は約3割にとどまっていた。

スポーツ指導者が、園や学校と連携しながら、子どもの運動遊びや運動・スポーツを推進していくことが、今後の課題であると考えられる。さらに放課後子どもクラブ（学童保育）の活動の中で、運動・スポーツの実践を進めていくことも必要であると思われる。

## 5. 多様な子どもを対象とした運動・スポーツの促進

今日、スポーツ少年団をはじめとするスポーツクラブに所属している子どもの多くは、「運動・スポーツが好きな子ども」「運動・スポーツが得意な子ども」「体力・運動能力が高い子ども」である。

子どもの体力・運動能力を向上させ、健やかな子どもを育成していくためには、今後、子どもの発育発達段階に応じた運動・スポーツのあり方を明確にし、運動・スポーツの実践が子どもの心身の能力を向上させ、将来の生涯スポーツの持ち越しにつながることを明確にして、多様な子どもが運動・スポーツを実践していくことの重要性をアピールしていく必要があると考えられる。

2012年度に策定・計画されている「日本スポーツ少年団第9次育成5ヵ年計画」においては、具体的な新たな加入対象として、「就学前の幼児」「障がいを持つ子ども」が挙げられている。これに加えて、「運動の嫌いな子ども・運動の苦手な子ども」「体力・運動能力が低い子ども」をサポートする体制をつくっていくことも、これからの子どもの運動・スポーツの指導において重要な課題であると思われる。

最後に、本調査にご協力いただいた、日本スポーツ少年団指導者の皆様、調査の実施にご尽力いただいた公益財団法人日本体育協会スポーツ振興部少年団課の皆様に、心より感謝申し上げます。

本報告が、今後の日本スポーツ少年団の発展、さらには子どもの運動・スポーツ活動の推進のための基礎資料となり、子どもの健やかな育みに貢献することを願っています。

## V. 添付資料 調査票・単純集計結果

### 「子どもの運動・スポーツ指導者の意識等に関する調査」

このアンケートは、子どもの運動・スポーツ活動に関する指導者の方々のお考えやご意見を伺い、現在の子どもの運動・スポーツ活動に携わる指導者の意識を捉えることを目的として実施しています。ご記入いただいた内容は、調査の目的以外には使用いたしません。本調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

研究プロジェクト：笹川スポーツ財団・山梨大学 中村和彦研究室

【お問合せ先】東京都港区虎ノ門 1-15-16 笹川スポーツ財団 事業部 武長

TEL：03-3580-5854 E-mail：data@ssf.or.jp

#### 問1. ご自身についてお伺いします。

当てはまる番号に ○ をつけるか、解答欄に記入してください。

(1) 性別 ( 1. 男性 588 (84.2) 2. 女性 106 (15.2) 不明 4 (0.6) )

(2) 年齢 ( 58.3±10.4 ) 歳

| 20代   | 30代   | 40代    | 50代    | 60代    | 70代    | 80代   | 不明    |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 8     | 27    | 86     | 217    | 264    | 82     | 4     | 10    |
| (1.1) | (3.9) | (12.3) | (31.2) | (37.8) | (11.7) | (0.6) | (1.4) |

(3) スポーツ少年団での指導経験年数 ( 24.6±11.0 ) 年

| 1～5年  | 6～10年 | 11～15年 | 16～20年 | 21～25年 | 26～30年 | 31～35年 | 36年以上  | 不明    |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 45    | 44    | 67     | 96     | 95     | 122    | 95     | 104    | 30    |
| (6.4) | (6.3) | (9.6)  | (13.8) | (13.6) | (17.5) | (13.6) | (14.9) | (4.3) |

(4) 現在、取得している指導者資格や教員免許について、

当てはまる番号に ○ をつけてください。( ○はいくつでも )

|                      |            |                      |            |
|----------------------|------------|----------------------|------------|
| 1. スポーツ少年団認定員        | 249 (35.7) | 2. スポーツ少年団認定育成員      | 539 (77.2) |
| 3. 少年スポーツ指導者         | 187 (26.8) | 4. ジュニアスポーツ指導員       | 284 (40.7) |
| 5. スポーツプログラマー        | 23 (3.3)   | 6. 競技別指導者            | 183 (26.2) |
| 7. クラブマネージャー         | 39 (5.6)   | 8. 体カテスト指導者          | 116 (16.6) |
| 9. 体カテスト判定員          | 185 (26.5) | 10. レクリエーションコーディネーター | 12 (1.7)   |
| 11. レクリエーションインストラクター | 16 (2.3)   | 12. 健康運動実践指導者        | 2 (0.3)    |
| 13. 健康運動指導士          | 4 (0.6)    | 14. 教員免許(幼・小・中・高)    | 119 (17.6) |
| 15. アシスタントマネージャー     | 24 (3.6)   | 16. その他              | 37 (5.2)   |

(5) あなたは、幼少年期（年少～小学校6年生）にスポーツ少年団や

スポーツクラブ※<sup>1</sup>での運動・スポーツ活動の経験はありますか。

( 1. はい 2. いいえ ) 不明  
 223 468 7  
 (31.9) (67.1) (1.0)

(5)-1 「1. はい」と回答した人にお伺いします。 ←…

幼少年期（年少～小学校6年生）に経験した運動・スポーツ種目\*と活動時期・頻度・時間についてお答えください。

| 運動・スポーツ種目                     | 活動時期     | 頻度              | 時間 |
|-------------------------------|----------|-----------------|----|
| (例) ( 2 ) ( 年長 )から( 小学4年生 )まで | 週に( 2 )回 | 1回あたり平均( 180 )分 |    |
| ( ) ( )から( )まで                | 週に( )回   | 1回あたり平均( )分     |    |
| ( ) ( )から( )まで                | 週に( )回   | 1回あたり平均( )分     |    |
| ( ) ( )から( )まで                | 週に( )回   | 1回あたり平均( )分     |    |

【運動・スポーツ種目一覧】

|                              |           |                             |           |
|------------------------------|-----------|-----------------------------|-----------|
| <b>&lt;球技やチームスポーツ&gt;</b>    |           | <b>&lt;武道・格闘技&gt;</b>       |           |
| 1 軟式野球                       | 50 (22.4) | 17 剣道                       | 48 (21.5) |
| 2 サッカー                       | 21 (9.4)  | 18 空手道                      | 13 (5.8)  |
| 3 バレーボール                     | 12 (5.4)  | 19 柔道                       | 16 (7.2)  |
| 4 バasketボール                  | 8 (3.6)   | 20 少林寺拳法                    | 1 (0.4)   |
| 5 ソフトボール                     | 26 (11.7) | 21 相撲                       | 2 (0.9)   |
| 6 卓球                         | 9 (4.0)   | 22 合気道                      | 1 (0.4)   |
| 7 ソフトテニス                     | 2 (0.9)   |                             |           |
| 8 硬式テニス                      | 2 (0.9)   | <b>&lt;野外・アウトドアスポーツ&gt;</b> |           |
| 9 バドミントン                     | 2 (0.9)   | 23 アウトドアスポーツ                | 1 (0.4)   |
| 10 ラグビー                      | 1 (0.4)   |                             |           |
| 11 ボウリング                     | 1 (0.4)   | <b>&lt;冬・ウィンタースポーツ&gt;</b>  |           |
| 12 硬式野球                      | 1 (0.4)   | 24 スキー                      | 5 (2.2)   |
| 13 ハンドボール                    | 1 (0.4)   | 25 アイススケート                  | 2 (0.9)   |
|                              |           | 26 フィギュアスケート                | 1 (0.4)   |
| <b>&lt;体操・ダンス・トレーニング&gt;</b> |           | <b>&lt;その他&gt;</b>          |           |
| 14 体操                        | 6 (2.7)   | 27 複合種目                     | 12 (5.4)  |
| <b>&lt;走る・歩く・泳ぐ&gt;</b>      |           | 28 ジュニアリーダー会                | 1 (0.4)   |
| 15 陸上競技                      | 8 (3.6)   |                             |           |
| 16 水泳                        | 20 (9.0)  |                             |           |

| 経験時期  | 人数  | %      |
|-------|-----|--------|
| 年少    | 6   | (0.6)  |
| 年中    | 15  | (1.5)  |
| 年長    | 39  | (4.0)  |
| 小学1年生 | 57  | (5.9)  |
| 小学2年生 | 75  | (7.7)  |
| 小学3年生 | 114 | (11.7) |
| 小学4年生 | 188 | (19.4) |
| 小学5年生 | 236 | (24.3) |
| 小学6年生 | 242 | (24.9) |

| 活動頻度  | 人数  | %      |
|-------|-----|--------|
| 週1回未満 | 1   | (0.4)  |
| 週1回   | 107 | (38.9) |
| 週2回   | 81  | (29.5) |
| 週3回   | 45  | (16.4) |
| 週4回   | 16  | (5.8)  |
| 週5回   | 8   | (2.9)  |
| 週6回   | 7   | (2.5)  |
| 週7回   | 5   | (1.8)  |
| 不明    | 5   | (1.8)  |

| 活動時間         | 人数  | %      |
|--------------|-----|--------|
| 60分未満/回      | 51  | (18.5) |
| 60～120分未満/回  | 158 | (57.4) |
| 120～180分未満/回 | 49  | (17.8) |
| 180～240分未満/回 | 4   | (1.5)  |
| 240～300分未満/回 | 6   | (2.2)  |
| 300～360分未満/回 | 0   | (0.0)  |
| 360～420分未満/回 | 1   | (0.4)  |
| 420～480分未満/回 | 1   | (0.4)  |
| 480分以上/回     | 0   | (0.0)  |
| 不明           | 5   | (1.8)  |

**問 2. ご指導の内容および運動・スポーツ指導に関するお考えについてお伺いします。**

(1) 現在も含め、指導経験のある運動・スポーツ種目と指導している子どもの学年、指導頻度・時間についてお答えください。

| 運動・スポーツ種目                        | 子どもの学年 | 指導頻度       | 時間                |
|----------------------------------|--------|------------|-------------------|
| (例) ( 2 ) ( 年長 ) から ( 小学4年生 ) まで |        | 週に ( 2 ) 回 | 1回あたり平均 ( 180 ) 分 |
| ( ) ( ) から ( ) まで                |        | 週に ( ) 回   | 1回あたり平均 ( ) 分     |
| ( ) ( ) から ( ) まで                |        | 週に ( ) 回   | 1回あたり平均 ( ) 分     |
| ( ) ( ) から ( ) まで                |        | 週に ( ) 回   | 1回あたり平均 ( ) 分     |

**【運動・スポーツ種目一覧】**

|                              |           |                            |           |
|------------------------------|-----------|----------------------------|-----------|
| <b>&lt;球技やチームスポーツ&gt;</b>    |           | <b>&lt;武道・格闘技&gt;</b>      |           |
| 1 軟式野球                       | 94 (15.1) | 28 剣道                      | 68 (10.9) |
| 2 サッカー                       | 98 (15.8) | 29 空手道                     | 56 (9.0)  |
| 3 バレーボール                     | 86 (13.8) | 30 柔道                      | 29 (4.7)  |
| 4 バスケットボール                   | 47 (7.6)  | 31 少林寺拳法                   | 15 (2.4)  |
| 5 ソフトボール                     | 35 (5.6)  | 32 相撲                      | 2 (0.3)   |
| 6 卓球                         | 18 (2.9)  | 33 レスリング                   | 2 (0.3)   |
| 7 ソフトテニス                     | 12 (1.9)  | 34 なぎなた                    | 4 (0.6)   |
| 8 硬式テニス                      | 11 (1.8)  | 35 合気道                     | 2 (0.3)   |
| 9 バドミントン                     | 15 (2.4)  | 36 フェンシング                  | 1 (0.2)   |
| 10 ラグビー                      | 4 (0.6)   | 37 居合道                     | 1 (0.2)   |
| 12 ドッジボール                    | 2 (0.3)   | 38 弓道                      | 1 (0.2)   |
| 13 ゲートボール                    | 1 (0.2)   | <b>&lt;冬・ウィンタースポーツ&gt;</b> |           |
| 14 硬式野球                      | 1 (0.2)   | 39 スキー                     | 25 (4.0)  |
| 15 ハンドボール                    | 2 (0.3)   | 41 アイススケート                 | 1 (0.2)   |
| <b>&lt;体操・ダンス・トレーニング&gt;</b> |           | 42 アイスホッケー                 | 2 (0.3)   |
| 16 体操                        | 7 (1.1)   | 43 カーリング                   | 1 (0.2)   |
| 17 新体操                       | 1 (0.2)   | <b>&lt;車輪のあるスポーツ&gt;</b>   |           |
| 18 リズムトレーニング                 | 1 (0.2)   | 44 一輪車                     | 1 (0.2)   |
| 19 エアロビクス                    | 1 (0.2)   | <b>&lt;運動遊び&gt;</b>        |           |
| 20 チアダンス                     | 1 (0.2)   | 45 運動遊び(体づくり)              | 4 (0.6)   |
| <b>&lt;走る・歩く・泳ぐ&gt;</b>      |           | <b>&lt;ニュースポーツ&gt;</b>     |           |
| 21 陸上競技                      | 27 (4.3)  | 46 アジャタ(玉入れ)               | 1 (0.2)   |
| 22 水泳                        | 22 (3.5)  | 47 スポーツチャンバラ               | 2 (0.3)   |
| 23 マラソン                      | 1 (0.2)   | <b>&lt;その他&gt;</b>         |           |
| 24 飛込み                       | 1 (0.2)   | 48 複合種目                    | 58 (9.3)  |
| <b>&lt;野外・アウトドアスポーツ&gt;</b>  |           | 49 ジュニアリーダー会               | 3 (0.5)   |
| 25 アウトドアスポーツ                 | 1 (0.2)   | 50 総合型スポーツクラブ              | 1 (0.2)   |
| 26 乗馬                        | 1 (0.2)   |                            |           |
| 27 馬術                        | 1 (0.2)   |                            |           |

| 経験時期  | 人数  | %      | 経験時期  | 人数  | %     |
|-------|-----|--------|-------|-----|-------|
| 年少    | 65  | (1.2)  | 中学1年生 | 269 | (5.1) |
| 年中    | 95  | (1.8)  | 中学2年生 | 265 | (5.0) |
| 年長    | 248 | (4.7)  | 中学3年生 | 263 | (4.9) |
| 小学1年生 | 554 | (10.4) | 高校1年生 | 113 | (2.1) |
| 小学2年生 | 570 | (10.7) | 高校2年生 | 110 | (2.1) |
| 小学3年生 | 643 | (12.1) | 高校3年生 | 104 | (2.0) |
| 小学4年生 | 680 | (12.8) |       |     |       |
| 小学5年生 | 666 | (12.5) |       |     |       |
| 小学6年生 | 667 | (12.6) |       |     |       |

| 活動頻度  | 人数  | %      |
|-------|-----|--------|
| 週1回未満 | 22  | (2.8)  |
| 週1回   | 188 | (24.1) |
| 週2回   | 281 | (36.0) |
| 週3回   | 169 | (21.6) |
| 週4回   | 54  | (6.9)  |
| 週5回   | 42  | (5.4)  |
| 週6回   | 14  | (1.8)  |
| 週7回   | 7   | (0.9)  |
| 不明    | 4   | (0.5)  |

| 活動時間         | 人数  | %      |
|--------------|-----|--------|
| 60分未満/回      | 64  | (8.2)  |
| 60～120分未満/回  | 424 | (54.3) |
| 120～180分未満/回 | 224 | (28.7) |
| 180～240分未満/回 | 38  | (4.9)  |
| 240～300分未満/回 | 11  | (1.4)  |
| 300～360分未満/回 | 7   | (0.9)  |
| 360～420分未満/回 | 0   | (0.0)  |
| 420～480分未満/回 | 1   | (0.1)  |
| 480分以上/回     | 0   | (0.0)  |
| 不明           | 12  | (1.5)  |

(2) 子どもにスポーツを指導する上で、参考にしているものに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

|                        |            |                                |            |               |            |
|------------------------|------------|--------------------------------|------------|---------------|------------|
| 1. 自分のスポーツ経験           | 510 (73.1) | 2. 機関誌(スポーツジャスト)や資格取得時の講習のテキスト | 363 (52.0) | 3. 専門書や指導参考書等 | 367 (52.6) |
| 4. 取得後に開催される資格に関する研修会等 | 375 (53.7) | 5. 指導者同士の自主的な勉強会等              | 259 (37.1) | 6. 専門のビデオやDVD | 180 (25.8) |
| 7. 他の指導者の実践内容          | 309 (44.3) | 8. インターネットによる情報収集              | 118 (16.9) |               |            |
| 9. その他                 | 30 (4.3)   |                                |            |               |            |

(3) 子どもの運動・スポーツ活動の指導において期待している効果について、当てはまる番号のいずれかに○をつけてください。

|                     | とても当てはまる   | 少し当てはまる    | どちらでもない    | あまり当てはまらない | 全く当てはまらない | 不明       | 無回答     |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|----------|---------|
| 1. 礼儀が身につく          | 411 (58.8) | 247 (35.4) | 20 (2.9)   | 5 (0.7)    | 0 (0.0)   | 6 (0.9)  | 9 (1.3) |
| 2. 精神面が鍛えられる        | 293 (42.0) | 332 (47.6) | 51 (7.3)   | 5 (0.7)    | 0 (0.0)   | 8 (1.1)  | 9 (1.3) |
| 3. 競技力が向上する         | 248 (35.5) | 330 (47.4) | 86 (12.3)  | 10 (1.4)   | 0 (0.0)   | 15 (2.1) | 9 (1.3) |
| 4. 学校での体育の成績向上に役立つ  | 149 (21.3) | 309 (44.2) | 182 (26.1) | 25 (3.6)   | 2 (0.3)   | 22 (3.2) | 9 (1.3) |
| 5. コミュニケーション能力を養う   | 283 (40.5) | 337 (48.4) | 58 (8.3)   | 1 (0.1)    | 0 (0.0)   | 10 (1.4) | 9 (1.3) |
| 6. 運動の楽しさを味わうことができる | 385 (55.2) | 257 (36.8) | 35 (5.0)   | 2 (0.3)    | 0 (0.0)   | 10 (1.4) | 9 (1.3) |
| 7. 運動に進んで取り組むことができる | 297 (42.6) | 312 (44.6) | 69 (9.9)   | 0 (0.0)    | 0 (0.0)   | 11 (1.6) | 9 (1.3) |
| 8. 仲間ができる           | 506 (72.5) | 166 (23.8) | 9 (1.3)    | 0 (0.0)    | 0 (0.0)   | 8 (1.1)  | 9 (1.3) |
| 9. 基本的な運動能力を身につける   | 357 (51.2) | 280 (40.1) | 41 (5.9)   | 3 (0.4)    | 0 (0.0)   | 8 (1.1)  | 9 (1.3) |
| 10. 健康な身体を育む        | 418 (59.9) | 241 (34.5) | 25 (3.6)   | 1 (0.1)    | 0 (0.0)   | 4 (0.6)  | 9 (1.3) |

(4) 子どもの運動能力向上や運動指導について、

あなたの考えに近い番号に○をつけてください。

- ①子どもの運動能力を高めるには、
- |                   |                   |          |         |
|-------------------|-------------------|----------|---------|
| 1. いろいろな運動遊びを経験する | 2. 特定のスポーツ活動を経験する | 不明       | 無回答     |
| 668 (95.7)        | 11 (1.6)          | 10 (1.4) | 9 (1.3) |
- ②子どもがスポーツ種目をひとつに絞って専門的に行うのは、
- |         |           |           |            |            |            |          |         |
|---------|-----------|-----------|------------|------------|------------|----------|---------|
| 1. 幼児期  | 2. 小学校低学年 | 3. 小学校中学年 | 4. 小学校高学年  | 5. 中学生     | 6. 高校生     | 不明       | 無回答     |
| 8 (1.1) | 27 (3.9)  | 60 (8.6)  | 132 (18.9) | 293 (42.0) | 136 (19.5) | 33 (4.7) | 9 (1.3) |
- ③練習試合を含めた子どもの試合参加については
- |                      |                       |          |         |
|----------------------|-----------------------|----------|---------|
| 1. 上手な子どもに優先的に機会を与える | 2. できる限り多くの子どもに機会を与える | 不明       | 無回答     |
| 19 (2.7)             | 654 (93.7)            | 16 (2.3) | 9 (1.3) |

**問3. 体育授業・運動部活動における「外部指導者\*」についてお伺いします。**

\*「外部指導者」とは、学校の授業や部活動の指導およびその補助のために登用される学校外の人材を指し、中学校の運動部活動を中心に各地で幅広く活用されています。

(1) 「外部指導者」について知っていますか。

- |              |                 |             |       |       |
|--------------|-----------------|-------------|-------|-------|
| ( 1. 知っている ) | ( 2. 聞いたことがある ) | ( 3. 知らない ) | 不明    | 無回答   |
| 555          | 93              | 32          | 16    | 2     |
| (79.5)       | (13.3)          | (4.6)       | (2.3) | (0.3) |

(2) 「1. 知っている／2. 聞いたことがある」と回答した人にお伺いします。

- 外部指導者としての経験がありますか。 ( 1. はい ) ( 2. いいえ )
- |        |        |       |       |
|--------|--------|-------|-------|
| 207    | 429    | 27    | 3     |
| (31.1) | (64.4) | (4.1) | (0.4) |

(3) 「1. はい」と回答した人にお伺いします。

外部指導者として、現在も含め、指導経験のある運動・スポーツ種目\*と指導している子どもの学年、活動内容・頻度についてお答えください。

| 運動・スポーツ種目 | 子どもの学年                 | 活動内容      | 指導頻度         |
|-----------|------------------------|-----------|--------------|
| (例) ( 2 ) | ( 中 1 )年生から( 中 3 )年生まで | 授業 or 部活動 | 年・月・週 ( 4 )回 |
| ( )       | ( )年生から( )年生まで         | 授業 or 部活動 | 年・月・週 ( )回   |
| ( )       | ( )年生から( )年生まで         | 授業 or 部活動 | 年・月・週 ( )回   |

**【運動・スポーツ種目一覧】**

| ＜球技やチームスポーツ＞    |    |        | ＜武道・格闘技＞       |    |        |
|-----------------|----|--------|----------------|----|--------|
| 1 軟式野球          | 12 | (5.8)  | 28 剣道          | 27 | (13.0) |
| 2 サッカー          | 15 | (7.2)  | 29 空手道         | 10 | (4.8)  |
| 3 バレーボール        | 28 | (13.5) | 30 柔道          | 16 | (7.7)  |
| 4 バasketボール     | 21 | (10.1) | 31 少林寺拳法       | 1  | (0.5)  |
| 5 ソフトボール        | 11 | (5.3)  | 34 なぎなた        | 5  | (2.4)  |
| 6 卓球            | 7  | (3.4)  |                |    |        |
| 7 ソフトテニス        | 6  | (2.9)  | ＜冬・ウィンタースポーツ＞  |    |        |
| 8 硬式テニス         | 2  | (1.0)  | 39 スキー         | 8  | (3.9)  |
| 9 バドミントン        | 7  | (3.4)  | 41 クロスカントリースキー | 1  | (0.5)  |
| 10 ラグビー         | 1  | (0.5)  | ＜運動遊び＞         |    |        |
| 13 ゲートボール       | 1  | (0.5)  | 46 運動遊び(体づくり)  | 1  | (0.5)  |
| 14 硬式野球         | 1  | (0.5)  | ＜ニュースポーツ＞      |    |        |
| 15 ハンドボール       | 1  | (0.5)  | 47 ティーボール      | 1  | (0.5)  |
| ＜体操・ダンス・トレーニング＞ |    |        | ＜その他＞          |    |        |
| 16 体操           | 2  | (1.0)  | 50 複合種目        | 2  | (1.0)  |
| 18 リズムトレーニング    | 1  | (0.5)  |                |    |        |
| ＜走る・歩く・泳ぐ＞      |    |        |                |    |        |
| 21 陸上競技         | 8  | (3.9)  |                |    |        |
| 22 水泳           | 6  | (2.9)  |                |    |        |

| 経験時期  | 人数 | %     | 経験時期  | 人数  | %      |
|-------|----|-------|-------|-----|--------|
| 年少    | 2  | (0.3) | 中学1年生 | 158 | (21.3) |
| 年中    | 2  | (0.3) | 中学2年生 | 158 | (21.3) |
| 年長    | 2  | (0.3) | 中学3年生 | 153 | (20.6) |
| 小学1年生 | 15 | (2.0) | 高校1年生 | 36  | (4.8)  |
| 小学2年生 | 16 | (2.2) | 高校2年生 | 36  | (4.8)  |
| 小学3年生 | 23 | (3.1) | 高校3年生 | 36  | (4.8)  |
| 小学4年生 | 33 | (4.4) |       |     |        |
| 小学5年生 | 37 | (5.0) |       |     |        |
| 小学6年生 | 36 | (4.8) |       |     |        |

| 活動場所 | 人数  | %      |
|------|-----|--------|
| 体育授業 | 28  | (13.2) |
| 部活動  | 173 | (81.6) |
| 不明   | 11  | (5.2)  |

## VI. 参考文献

- 1) 文部科学省：スポーツ立国戦略．2010.
- 2) 文部科学省：全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書．2010.
- 3) 文部科学省：スポーツ基本法．2011.
- 4) 文部科学省：スポーツ基本計画．2012.
- 5) 文部科学省：幼児期運動指針．2012.
- 6) 中村和彦，宮丸凱史：幼児の動作発達と精神発達との関係．山梨大学教育学部研究報告 40．1989.
- 7) 中村和彦，山口剛史，篠原俊明，山本敏之，保坂美礼，武長理栄：幼少児を対象とした運動・スポーツ指導の今日的課題．山梨大学教育人間科学部紀要第 12 巻．2010.
- 8) 中村和彦，武長理栄，川路昌寛，篠原俊明，山本敏之，山縣然太朗，宮丸凱史：観察的評価法による幼児の基本的動作様式の発達．発育発達研究 51．2011.
- 9) 中村和彦，長野康平：幼少年期の運動経験の持ち越しに関する研究．山梨大学教育人間科学部紀要第 13 巻．2011.
- 10) 日本体育協会スポーツ医・科学専門委員会：幼少年期に身につけておくべき基本運動（基礎的動き）に関する研究－第 3 報－．平成 19 年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 I．2008.
- 11) 日本体育協会：平成 23 年度スポーツ少年団育成事業報告書．2012.
- 12) 笹川スポーツ財団：スポーツライフ・データ 2010－スポーツライフに関する調査報告書－．2010.
- 13) 笹川スポーツ財団：スポーツ白書～スポーツが目指すべき未来～．2011.

---

## 子どもの運動・スポーツ指導者の意識等に関する調査

2012年3月発行

発行者 公益財団法人 笹川スポーツ財団

〒107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 11F

TEL 03-5545-3303 FAX 03-5545-3305

E-mail [info@ssf.or.jp](mailto:info@ssf.or.jp) URL <http://www.ssf.or.jp/>

---

無断転載、複製および転訳載を禁止します。引用の際は本書が出典であることを明記してください。

本事業は、ポートルースの交付金による日本財団の助成金を受けて実施しました。

